TOSHIBA

形名
HD-XA2
東芝 HD DVDプレーヤー



取扱説明書

「JIS C 0950に基づくマーク」

●このたびは東芝HD DVDプレーヤーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
●お求めのHD DVDプレーヤーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
●保証書を必ずお受け取りになり、内容をご確認の上、たいせつに保管してください。
●製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。
●インターネットによるオンライン登録または、同梱されておりますFAX用紙によるユーザー登録にご協力ください。
（インターネットによるオンラインユーザー登録アドレス http://room1048.jp/）

特長／付属品



HD DVDビデオディスクを再生！！

次世代にふさわしい高密度／大容量化したディスクが
HD DVDビデオディスクです。

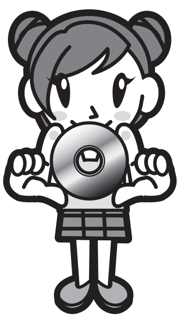
●DVDフォーラムで規格承認された、
それがHD DVD HD DVD ディスク。

●HD DVD（一層）は約15GB、
HD DVD（二層）は約30GBの大容量。

HD DVDは新規格です。ディスクによっては本機で再生できないものもあります。

HD DVDディスクの高画質映像をお楽しみになるには、高解像度（720p、1080i、1080p）に対応したテレビ（プログレッシブ方式テレビやハイビジョン対応テレビ）を、本機のD端子またはHDMI端子につないでお使いになることをおすすめします。

これら以外のテレビでは、HD DVDの映像を見ることはできますが、ハイビジョン映像でご覧いただくことはできませんのでご注意ください。



マルチディスク対応

●市販のHD DVDビデオ、DVDビデオ、音楽用CDの再生

●DVD-RW、DVD-Rの再生
（DVD VRモードまたはDVDビデオモードでの録画済みディスク）

●CD-RW、CD-Rの再生
（CD-DAフォーマットの音楽用CD）

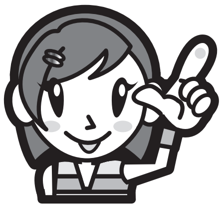
※お使いになれるディスクについては、28ページをご覧ください。
ディスクによっては本機で再生できないものもあります。
※ブルーレイディスクは再生できません。



ネットワーク機能（LAN端子）装備

●HD DVDディスク※の中には、専用サイトなどにアクセスできるディスクがあります。ブロードバンド常時接続環境をお持ちの方なら、映画の予告編など専用サイトのコンテンツを本機の出力として視聴できます。

※HD DVDソフト仕様によります。対応ディスクでなければ、この機能は働きません。



多彩な出力端子を装備

●1本のケーブルで映像／音声をデジタル信号でつなぐHDMI端子を装備。

HDMI1080p出力およびディープカラー出力に対応。
映像出力の最高フォーマットである1080p出力に対応し、HDMI接続したテレビやプロジェクターでより高品位な映像再生ができます。また、先進フォーマットであるディープカラー出力にも対応し、階調表現力の豊かな映像再現が可能※です。

※ディープカラーに対応したテレビに接続時のみ。

●D1～D4信号出力ができるコンポーネント端子とD端子を装備。

高解像度の映像コンテンツを見るには…

- 高解像度（720p、1080i、1080p）信号入力対応テレビまたはモニターが必要です。1080pの映像には、HDMI端子による接続が必要です。
- 高解像度のコンテンツが記録されたHD DVDディスクが必要です。
- 一部のコンテンツでは（ディスクの説明や表示をご確認ください）、HDMI入力またはHDCP対応のDVIポートのあるテレビもしくはモニターが必要です。
- 標準画質のDVDディスクをアップコンバート（従来画像の解像度を電子的にHDのレベルまであげることをいいます。）で見る場合、コピーガードのかかったコンテンツは、HDMI入力またはHDCP対応のDVIポートのあるテレビもしくはモニターが必要です。

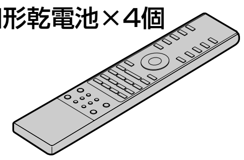
●5.1チャンネルサラウンドアナログ音声出力端子を装備。

ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD（コアストリームのみ）のマルチチャンネル音声を楽しむには、5.1チャンネルアナログ音声入力もしくは、HDMIマルチチャンネルリニアPCM対応音声入力のあるAVアンプ等が必要です。

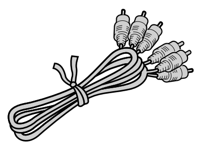
付属品

以下の付属品があります。お確かめください。

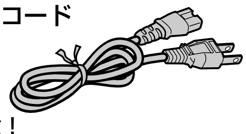
ワイヤレスリモコン
単四形乾電池×4個



映像・音声接続コード



電源コード



注意！
本製品以外にこの電源コードを使用しないでください。

もくじ

1 はじめに

2 接続

3 再生（基本編）

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ **表示の説明**

表　示	表　示　の　意　味
⚠ 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠ 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1： **重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。**
*2： **傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。**
*3： **物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。**

■ **図記号の例**

図　記　号	図　記　号　の　意　味
⃠ 禁　止	“⃠”は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指　示	“●”は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注　意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠ 警告

異常や故障のとき

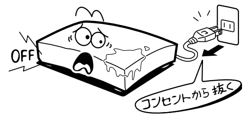
煙が出ていたり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

プラグを抜け



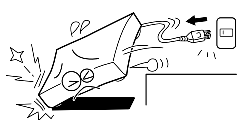
内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

プラグを抜け



落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。キャビネットが破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。お買い上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

プラグを抜け



電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

プラグを抜け

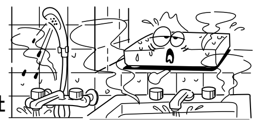


⚠警告

設置するとき

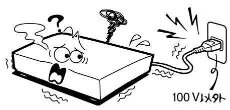
屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かないこと
火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室での使用禁止



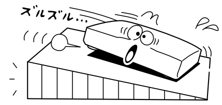
電源プラグは交流 100V のコンセントに接続すること
交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。

指　示



ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと
本機が落ちて、けがの原因となります。

禁　止



上にものを置かないこと
- 金属類や、花びん･コップ･化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災･感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。また、本体内部に変形を起こし、トラブルの原因となることがあります。

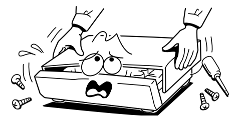
上載せ禁止



使用するとき

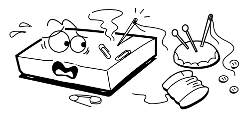
修理・改造・分解はしないこと
火災・感電の原因となります。
点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止



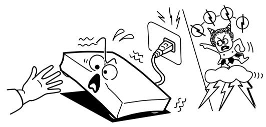
ディスクトレイなどから異物を入れないこと
金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。

異物挿入禁止



雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れないこと
感電の原因となります。

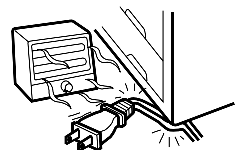
接触禁止



電源コードは
- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと**
- **他の電源コードは使用しないこと**
- **他の機器に使用しないこと**

火災・感電の原因となります。

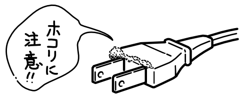
禁　止



お手入れについて

時々電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除すること
電源プラグの絶縁低下、接触不良によって、火災・感電の原因となります。
（電源プラグは待機状態のときに抜いてください。）

指　示



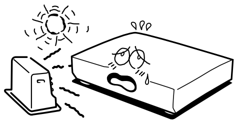
安全上のご注意(つづき)

⚠注意

設置するとき

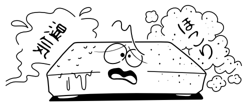
温度の高い場所に置かないこと
直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。

禁止



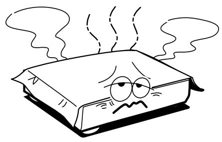
湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

禁止



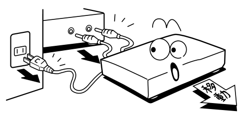
風通しの悪い場所に置かないこと
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
●壁に押しつけないでください。
●押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。
●テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
●じゅうたんや布団の上に置かないでください。
●あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。
●本機の底部には吸気孔があります。吸気を妨げる場所に置かないでください。

禁止



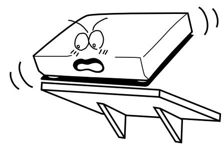
移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線をはずすこと
電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることや、接続線などをはずさずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。

指示



高い場所に設置しないこと
本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。

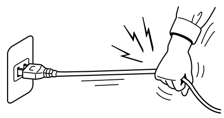
禁止



使用するとき

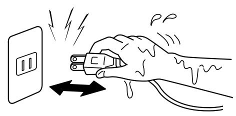
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと
電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。

引っ張り禁止



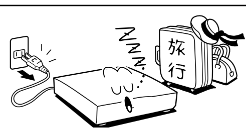
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



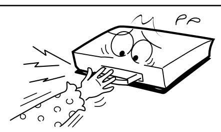
旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと
万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

プラグを抜け



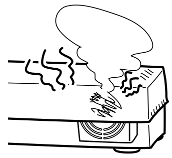
ディスクトレイに、手を入れないこと
指をはさみ、けがの原因となることがあります。
特にお子様がいるときにはご注意ください。

禁止



背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがないこと
内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。これら通風孔とラックとの間は10cm以上離してください。

禁止

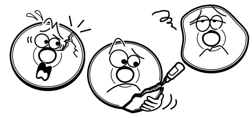


⚠注意

使用するとき

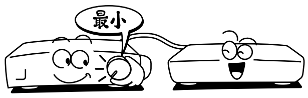
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと
ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。

禁止



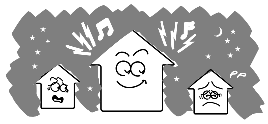
電源を入れる前には音量を最小にすること
電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。

指示



テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎないこと
音量を上げすぎると、耳への刺激で聴力に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。

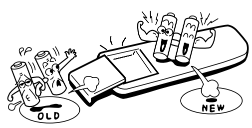
禁止



リモコンに使用している乾電池は、
●指定以外の乾電池は使用しないこと
●極性[(＋)と(－)]を間違えて挿入しないこと
●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れないこと
●乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかないこと
●種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと
これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

禁止





使用上のお願い

取扱いに関すること

●非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
●移動させるときは
引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動をあたえないでください。
●殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。
変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部にはいると故障の原因になります。
●長時間ご使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。

使用しないときは

●ふだん使用しないとき
ディスクトレイから必ずディスクを取り出し、電源を切っておいてください。
●長期間使用しないとき
電源プラグを抜いてください。ただし、設定した時刻情報が消去されますので、ご使用になるときは、再度時刻設定をしてください。

置き場所に関すること

●本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
●本機をテレビやラジオ、ビデオデッキの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオデッキからできるだけ離してください。
●直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、ビデオデッキなど熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

●お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行なってください。
●キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽くふき取ってください。
●ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。
変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
●化学ぞうきんは使用しないでください。

日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This player is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

音量について

●市販のHD DVDディスクまたはDVDディスクの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。
これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

免責事項について

●火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断)に関して、当社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ(操作不能)などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

再生するときの制約

付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。HD DVDディスクまたはDVDディスクは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「⊘」が表示されることがあります。
「⊘」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

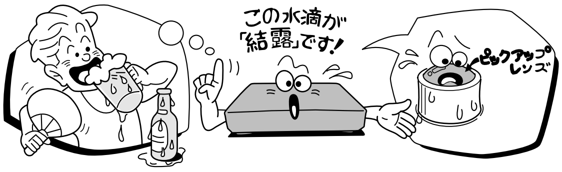
ソフトウェアの変更について

本機は品質について万全を期しておりますが、本体内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。
（⇨61ページ）

結露（露付き）について

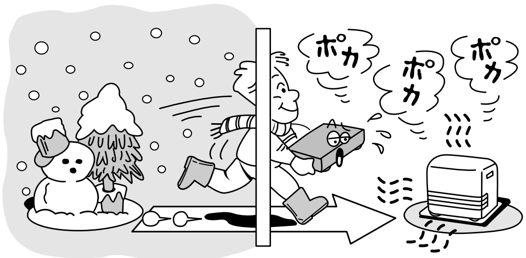
結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

例えば、よく冷えたビールをコップにつぐと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露（露付き）”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。



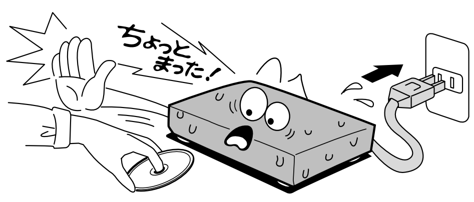
■“結露”はこんなときおきます。

- ●本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
- ●暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
- ●夏季に、冷房のきいた部屋･車内などから急に温度･湿度の高いところに移動して置いたとき
- ●湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき



■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり水滴がとれますので、しばらく放置してからご使用ください。



著作権について

- ●ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律で禁止されています。
- ●本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- ●以下、本機で使用されているライセンスロゴについての説明です。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。
米国特許5,451,942、5,956,674、5,974,380、5,978,762、6,226,616、6,487,535およびその他外国特許を出願中です。
DTSおよびDTS Digital SurroundはDigital Theater Systems, Inc.の登録商標です。
著作権1996年、2003年Digital Theater Systems, Inc.不許複製。

HDMI、HDMIロゴ及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標又は登録商標です。

SHARC、SHARCロゴ、SHARC Melodyは、アナログ・デバイセズの登録商標です。

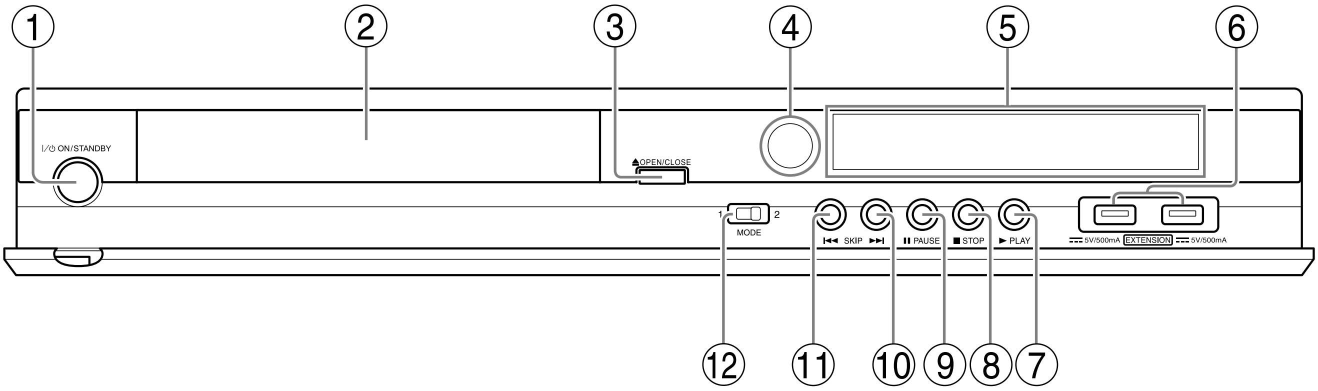
HD DVD および DVD はDVDフォーマット/ロゴ ライセンシング株式会社の商標です。

本取扱説明書に記載されている名称、会社名、商品名などには、各社の登録商標や商標が含まれています。

各部の名前

くわしくは⇨のページをご覧ください。

前面



① 電源ボタン(ON/STANDBY) ／電源インジケーター ⇨30ページ

電源を入／待機にします。

② ディスクトレイ ⇨30ページ

ディスクを入れます。

③ トレイ開／閉ボタン(▲ OPEN/CLOSE)⇨30ページ

ディスクトレイを開閉します。

④ リモコン受光部 ⇨16ページ

⑤ 表示窓 ⇨14ページ

⑥ EXTENSION端子 ⇨ 41ページ

⑦ 再生ボタン(► PLAY)⇨31ページ

再生を開始します。

⑧ 停止ボタン(■ STOP)⇨31ページ

再生を停止します。

⑨ 一時停止ボタン(❚❚ PAUSE) ⇨ 31ページ

再生を一時停止します。

⑩ スキップボタン(SKIP ⏭) ⇨ 35ページ

次のチャプター／トラックにスキップします。

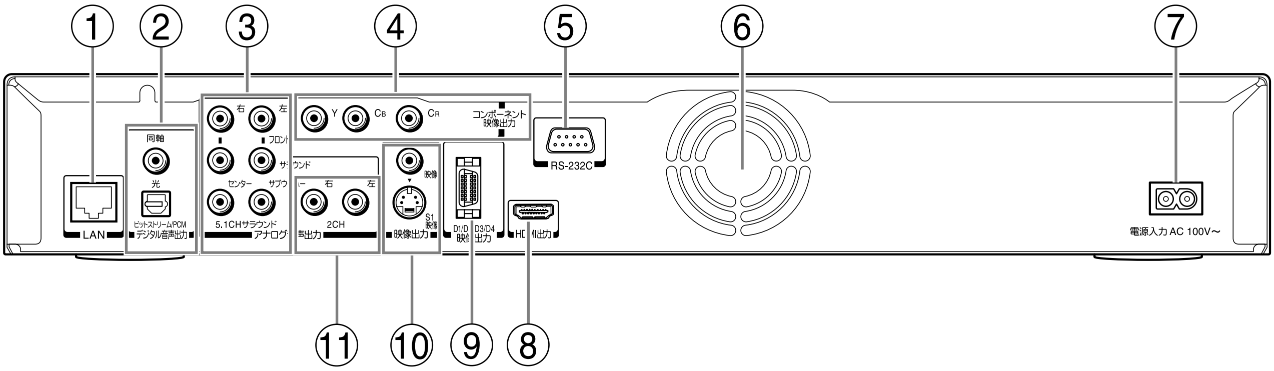
⑪ スキップボタン(⏮ SKIP) ⇨ 35ページ

前のチャプター／トラックにスキップします。

⑫ モードスイッチ(MODE) ⇨ 20ページ

本機からの映像信号を出力する端子を切り換えます。

背面



①LAN端子 ⇨46ページ
ブロードバンド常時接続環境のネットワークと接続します。

②デジタル音声出力 ビットストリーム／ PCM（光／同軸）端子 ⇨25ページ
デジタル音声信号を出力します。デコーダー内蔵AVアンプなどのデジタル音声入力端子と接続します。光デジタルケーブルを接続するときは、形状を合わせて奥までしっかり差し込んでください。

③アナログ音声出力(5.1CHサラウンド)端子 ⇨26ページ
5.1ch音声入力対応アンプと接続します。

④コンポーネント映像出力端子 ⇨22ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにコンポーネント端子があるときに接続します。

⑤RS-232C端子
機能拡張用端子です。

⑥冷却用ファン
通風孔をふさがないでください。

⑦電源入力端子 ⇨21、22ページ
付属の電源コードを接続します。

⑧HDMI出力端子 ⇨21ページ
テレビやモニター、AVアンプに映像／音声信号を出力します。テレビやモニター、AVアンプにHDMI端子があるときに接続します。

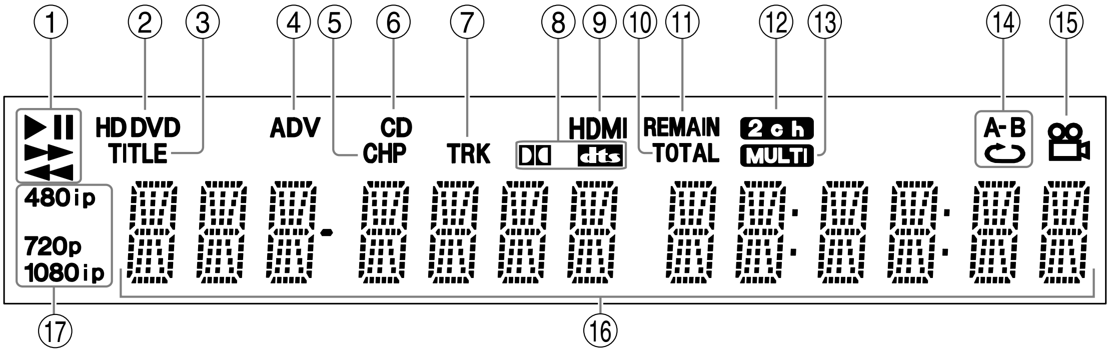
⑨D1/D2/D3/D4映像出力端子 ⇨22ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにD端子があるときに接続します。

⑩映像出力(映像／ S1映像)端子 ⇨22ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。

⑪アナログ音声出力(2CH)端子 ⇨22ページ
テレビやAVアンプに音声信号を出力します。

各部の名前（つづき）

表示窓



① **再生状態表示**
▶：再生中　　▶▶：早送り
II：一時停止中　　◀◀：早戻し

② **ディスク表示**
HD DVD：HD DVDディスクがはいっているときに点灯します。
DVD：　DVDディスクがはいっているときに点灯します。

③ **タイトル表示**
タイトル番号を表示しているときに点灯します。

④ **ADV（アドバンスト）表示**
アドバンストコンテンツが再生されているときに点灯します。

⑤ **チャプター表示**
チャプター番号を表示しているときに点灯します。

⑥ **CD表示**
CDがはいっているときに点灯します。

⑦ **トラック表示**
トラック番号を表示しているときに点灯します。

⑧ **音声方式表示**
DD：ドルビーデジタル音声が再生されているときに点灯します。
dts：DTS音声が再生されているときに点灯します。

⑨ **HDMI表示**
HDMI接続されているときに点灯します。

⑩ **トータル表示**
ディスクの記録内容の総時間を表示しているときに点灯します。

⑪ **残量表示**
残量時間を表示しているときに点灯します。

⑫ **2ch表示**
音声出力が2チャンネル（L/R）のときに表示します。

⑬ **マルチ表示**
音声出力が5.1チャンネルのときに表示します。

⑭ **リピート表示**
リピート再生中に点灯します。

⑮ **アングルアイコン表示**
マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点灯します。

⑯ **情報表示**
ディスクの記録内容の総時間、経過時間、残量、タイトル番号、チャプター番号、メッセージなどを表示します。

⑰ **映像出力表示**
出力されている映像方式に合わせて表示します。
480i　：D1（480i インターレース）
480p　：D2（480p プログレッシブ）
720p　：D4（720p プログレッシブ）
1080i：D3（1080i インターレース）
1080p：HDMI出力（1080p プログレッシブ）

■ 表示窓の見かた

表示 ○　表示窓に表示される内容を、リモコンの「表示」ボタンで切り換えます。ディスクの状態によって表示が切り換わらないことがあります。

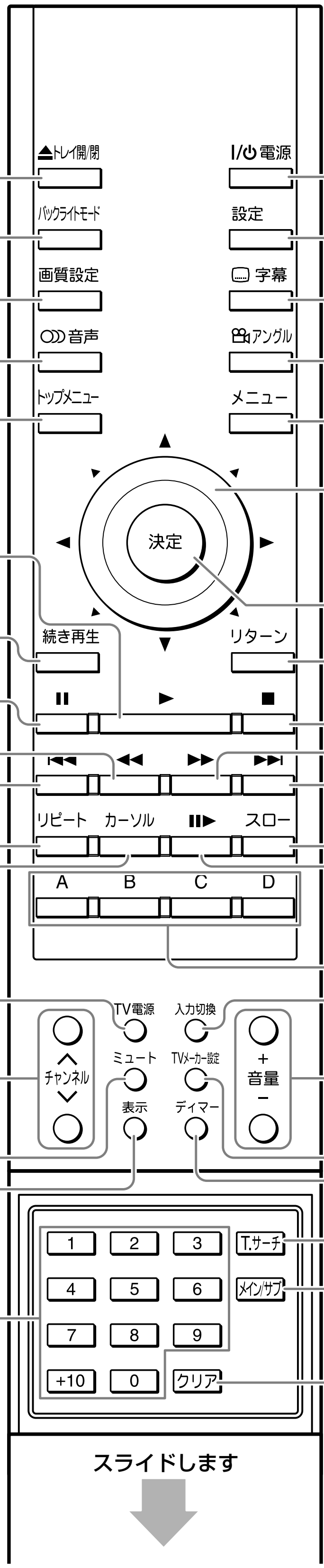
■ 表示窓の明るさを変えるには

リモコンの「ディマー」ボタンを押すたびに、表示窓の明るさが切り換わります。

ディマー ○　普通の明るさ ──▶ 減光 ──▶ 消灯（──▶ 普通の明るさ）

・電源を入れ直すと、明るさの設定は解除されます。

リモコン



トレイ開／閉ボタン ⇨ 30ページ
バックライトモードボタン ⇨ 16ページ
画質設定ボタン ⇨ 37ページ
音声ボタン ⇨ 33ページ
トップメニューボタン ⇨ 32ページ
►(再生)ボタン ⇨ 31ページ
続き再生ボタン ⇨ 36ページ
II (一時停止)ボタン ⇨ 31、35ページ
◄◄ (早戻し)ボタン ⇨ 35ページ
I◄◄ (スキップ)ボタン ⇨ 35ページ
リピートボタン ⇨ 40ページ
カーソルボタン ⇨ 41ページ
TV電源ボタン ⇨ 17ページ
テレビチャンネルボタン ⇨ 17ページ
ミュートボタン ⇨ 17ページ
表示ボタン ⇨ 42ページ
番号ボタン ⇨ 36ページ

電源ボタン ⇨ 30ページ
設定ボタン ⇨ 54ページ
字幕ボタン ⇨ 34ページ
アングルボタン ⇨ 34ページ
メニューボタン ⇨ 32ページ
方向ボタン ⇨ 32、54ページ
決定ボタン ⇨ 32、54ページ
リターンボタン ⇨ 54ページ *
■ (停止)ボタン ⇨ 31ページ
►► (早送り)ボタン ⇨ 35ページ
►►I (スキップ)ボタン ⇨ 35ページ
スローボタン ⇨ 35ページ
II► （コマ送り）ボタン ⇨ 35ページ
A、B、C、Dボタン ⇨ 32ページ
入力切換ボタン ⇨ 17ページ
音量ボタン ⇨ 17ページ
TVメーカー設定ボタン ⇨ 17ページ
ディマーボタン ⇨ 14ページ
T.サーチボタン ⇨ 36ページ
メイン／サブボタン *
クリアボタン ⇨ 36ページ

* メイン／サブボタン
ファームウェアのアップデート後にお使いになれる予定のボタンです。

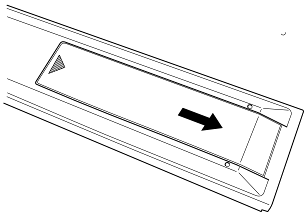
* リターンボタン
市販のソフトディスクを再生中に「リターン」ボタンを押すと、指定された画面に戻ります。
ディスク側の説明書もご覧ください。

リモコンの準備と使いかた

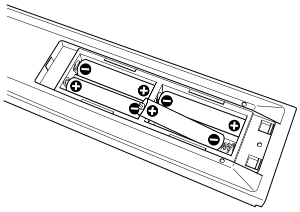
リモコンを準備します。また、テレビにも使えるように設定しましょう。

リモコンの準備（乾電池を入れる）

1 ふたをはずす



2 乾電池を入れる

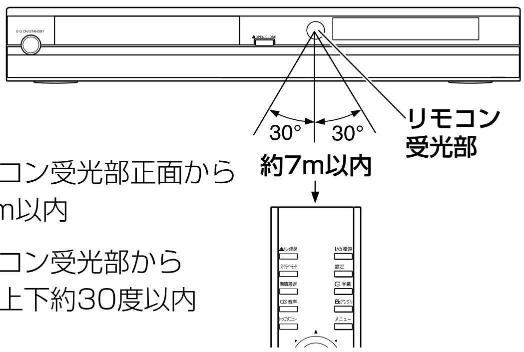


- 単四形乾電池(R03)を4個使用します。
- 乾電池の＋、－を確かめて入れてください。

3 ふたを閉める

リモコンで操作するには

本体の「**リモコン受光部**」に向けてボタンを押す



距離：リモコン受光部正面から約7m以内

角度：リモコン受光部から左右上下約30度以内

お知らせ

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 動作しなかったり、到達距離が短くなったりしたときは、乾電池をすべて新しいものと交換してください。古い乾電池と新しい乾電池を組み合わせて使わないでください。

リモコンのバックライトについて

暗い部屋などで使うときに便利なように、リモコンのボタンが光るバックライト機能が付いています。リモコンのいずれかのボタンを押すと、リモコンのボタンが約10秒間光ります。
お買い上げ時はバックライト機能がオフになっています。

■バックライト機能を使うときの設定

［バックライトモード］を約3秒以上押しつづける

バックライト機能がオンになります。

- バックライト機能をオフにするには、もう一度「バックライトモード」を約3秒以上押しつづけます。

お知らせ

- バックライト機能は電池の消耗を早めます。
- リモコンの電池を交換したときは、バックライト機能はオフに戻ります。

本機のリモコンでテレビを操作するときの設定

1 TVメーカー設定 を押したまま、テレビのメーカー番号を番号ボタンで入力する

例：メーカー番号 0001 を入力するには

TVメーカー設定 押したまま　0 → 0 → 0 → 1

メーカー	メーカー番号
東　芝	0001
松　下 A	6191
松　下 B	6201
日　立	6281
三　菱	6291
シャープA	6231
シャープB	6251
日本ビクター	6311
三　洋 A	6341
三　洋 B	6671
ソ ニ ー	6211
N E C	6401
富士通ゼネラル	6371
パイオニア	6261

• メーカーによっては、二つ以上の設定番号があります。本機のリモコンで操作できるように、一つずつ入力してみてください。

2 TVメーカー設定 から指を離す

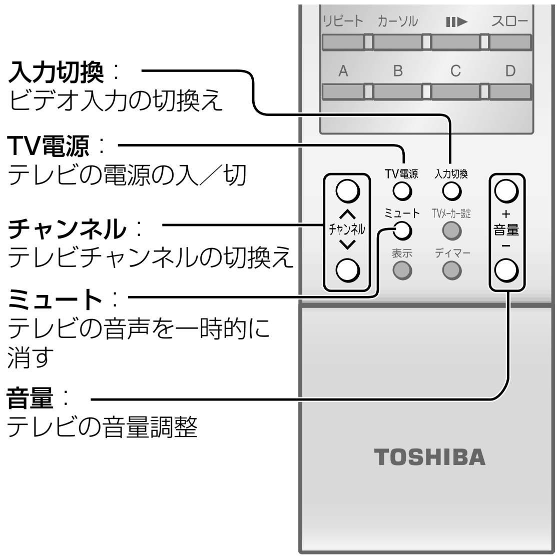
メーカー番号が指定されます。

お知らせ

• 出荷時は東芝のテレビに設定しています。
• リモコンの電池を入れ換えたときは、メーカー番号を設定し直してください。

リモコンでテレビを操作する

リモコンをテレビに向けて操作します。
本機のリモコンでは以下の操作だけができます。
ほかの操作をするとき、または本機のリモコンで操作できないテレビの場合には、テレビのリモコンをお使いください。



お知らせ

• お使いのテレビによっては、音量が 1 回のボタン操作で数段階変わることがあります。
• テレビの種類によっては、本機のリモコンで操作できない場合や、一部操作できないボタンがあります。そのときは、テレビのリモコンをお使いください。

本書の読みかた

対応ディスクの表記

この取扱説明書では、機能ごとに使えるディスクの種類を、以下のマークで表しています。
（本機で使えるディスクについては、28 ページをご覧ください。）

マーク	ディスク
HD DVD	HD DVDビデオディスク
DVDビデオ	DVDビデオディスク
DVD-RW	DVD-RW
DVD-R	DVD-R
CD	音楽用CD
CD-RW（CD-DA）	CD-RW（CD-DAフォーマット）
CD-R（CD-DA）	CD-R（CD-DAフォーマット）

操作説明文とボタン

操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンと表示されているマークが同じであれば使いかたも同じです。

2 接　続

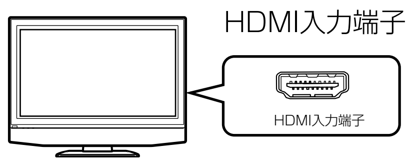
テレビやモニターに接続してみましょう。

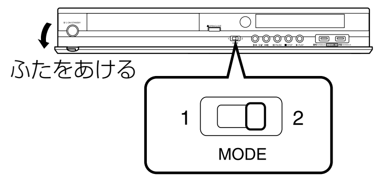
テレビとの接続

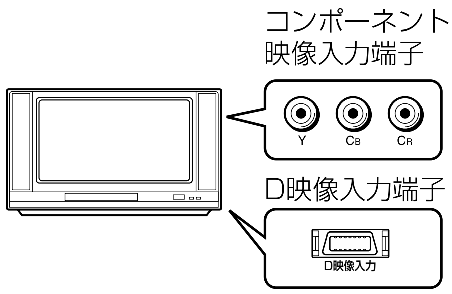
ステップ1 テレビの映像入力端子の確認

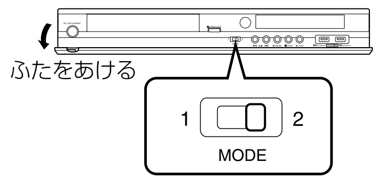
解像度が 480ｐ およびハイビジョン（720ｐ、1080ｉ、1080ｐ）の映像を見る場合には、HDMI 端子もしくは D 端子／コンポーネント端子で接続してください。※
ディスクによっては、HDMI 端子を使わないと見ることのできないコンテンツもあります。

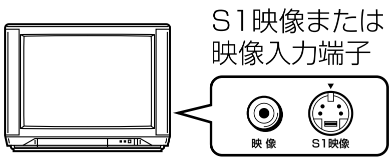
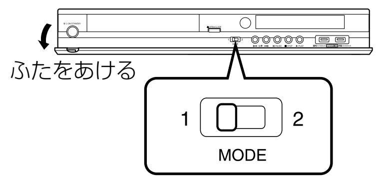
接続のしかたに合わせて、本体の MODE スイッチを以下のように設定しておきます。

<table>
<tr><th>テレビの入力端子</th><th>ハイビジョン映像</th><th>本体前面のMODEスイッチ
接続に合わせて設定します。
（設定が正しくないと、本機からの映像が映りません。）</th><th>ページ</th></tr>
<tr><td>

おすすめの接続です。</td><td>そのまま見られます。
1080pの映像を見るには、この接続を行なってください。</td><td>

本機の電源が「切」のときに切り換えてください。</td><td>21</td></tr>
<tr><td>
</td><td>制限付きで見られます。
ディスクによっては信号がダウンコンバートされたり、コンテンツによってはHDMI端子に接続しないと見られない場合もあります。

1080pの映像は見られません。HDMI端子で接続してください。</td><td>

本機の電源が「切」のときに切り換えてください。</td><td>22</td></tr>
<tr><td>
</td><td>画質が下がります。
ディスクやコンテンツによってはHDMI端子に接続しないと見られない場合もあります。</td><td>

本機の電源が「切」のときに切り換えてください。</td><td>22</td></tr>
</table>

※ HDMI 入力端子を使った接続をおすすめする理由

ハイビジョン映像とは、出力方式が 720ｐ、1080ｉ、1080ｐの映像をいいます。HD DVD、DVD ビデオディスクには、コピーコントロール情報、出力解像度制限情報などが含まれており、本機はこれらの情報に準じて映像を出力し、ディスク製作者側が、D 端子もしくはコンポーネント端子からのハイビジョン映像出力を禁止している場合、D 端子／コンポーネント端子の出力は「480ｐ」に自動的に切り換わります。そのため、ハイビジョン映像を本来の解像度（720ｐ、1080ｉ、1080ｐ）でご覧になるには、HDMI 端子付き機器との接続が必要です。
ただし、接続する機器は、HDCP 機能に対応しているものに限ります。HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) とは、デジタル方式の画像や映像コンテンツの出力信号を暗号化し、不正コピーを防止する著作権保護技術の 1 つです。

注意

- 電源コードは付属のもの以外は使用しないでください。
- 本電源コードは本製品以外には使用しないでください。

お願い

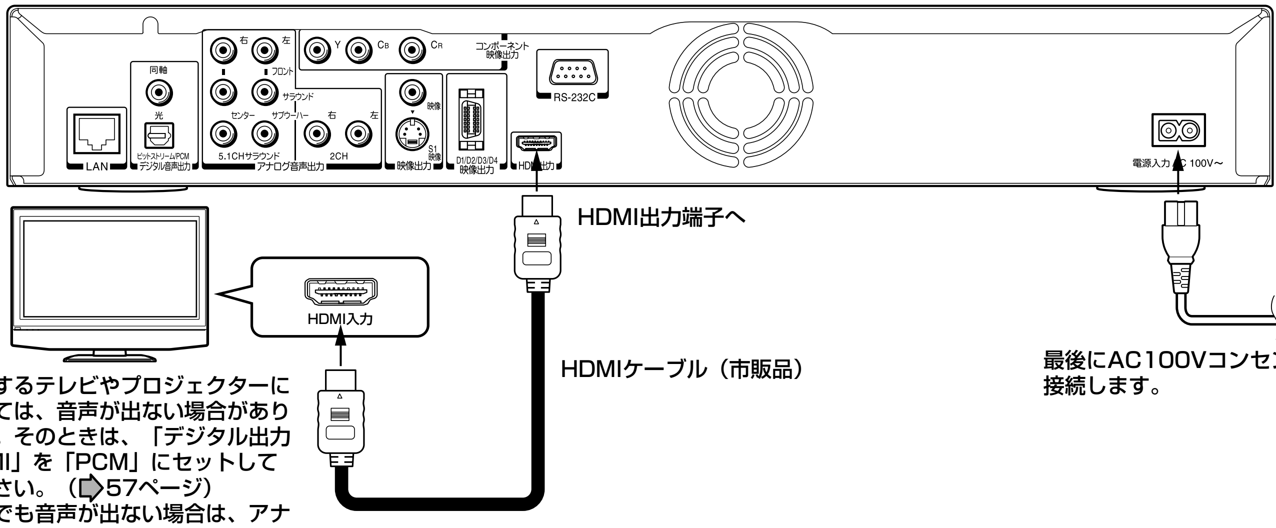
- 接続するときは、必ず本機およびテレビの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。接続をやり直すときにも、必ず行なってください。
- 本機とテレビは直接接続してください。本機からの映像をビデオデッキ、ビデオ内蔵テレビ、セレクター、AV アンプなどを通してご覧になると、コピー防止の機能によって、正常な映像にならないことがあります。

ステップ2 テレビとの接続

HDMI 端子付きテレビとの接続

HDMIとは、デジタル家電／ AV機器間をデジタル信号でつなぐことができるインターフェイス(接続システム)です。HDMI端子付き※のテレビやモニター、AVアンプと本機の間を、HDMIケーブルを使って接続することで、デジタル映像／音声信号を高品質のまま伝送することができます。HDMIケーブルは市販品をお使いください。

※ HDCP 機能に対応していない機器には接続できません。HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) とは、デジタル方式の画像や映像コンテンツの出力信号を暗号化し、不正コピーを防止する著作権保護技術の 1 つです。



接続するテレビやプロジェクターによっては、音声が出ない場合があります。そのときは、「デジタル出力 HDMI」を「PCM」にセットしてください。（➡57ページ）
それでも音声が出ない場合は、アナログ音声出力端子をお使いください。

本機は、HDMI 映像出力端子と D 端子／コンポーネント映像出力端子の両方から同時に信号が出せますが、ディスクによっては、ハイビジョンコンテンツまたはアップコンバートされた DVD コンテンツをご覧になっているときに、D 端子／コンポーネント映像出力端子からの出力が制限される場合があります。

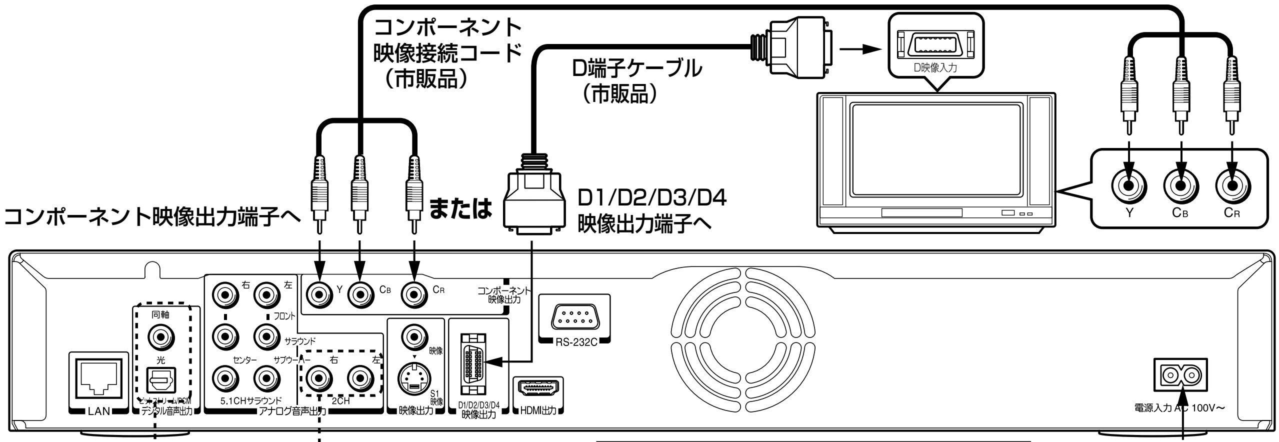
接続が終わったら、➡23ページの設定を行なってください。

お知らせ

- 本機に接続したテレビやモニターの取扱説明書もよくお読みください。
- HDMIの信号が確認されない場合に、本体表示窓にエラーが表示されることがあります。この場合は、HDMIケーブルを抜き差しするか、接続機器の電源を入れ直してください。
- HDMI出力端子は、DVIアナログには対応していません。
- 本機のHDMI出力端子では、VGAは出力しません。
- HDMIは新しい技術です。今後、HDMIの技術が進歩した場合、本機では対応できなくなることがあります。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI™)の表示があるケーブルをお使いください。
- 接続するテレビの特性、映像ソースの解像度、本機の映像出力の解像度の組み合わせによっては、高い解像度の出力が最適ではないこともあります。お好みに合わせて出力の解像度を切り換えてご覧ください。
- ディープカラー対応機器と接続するときは、対応ケーブルをお使いください。

テレビとの接続（つづき）

D 端子／コンポーネント映像入力端子付きテレビと接続する



デジタル音声出力端子を使う場合は、このどちらかの端子をドルビーデジタル、DTSビットストリーム、PCM音声対応機器のデジタル音声入力端子に接続してください。（25ページ）

アナログ音声出力端子を使う場合は、音声接続コードでお使いのテレビの音声入力端子と接続してください。この場合「スピーカー設定」を「2ch」に設定します。（58ページ）

各D端子の対応信号

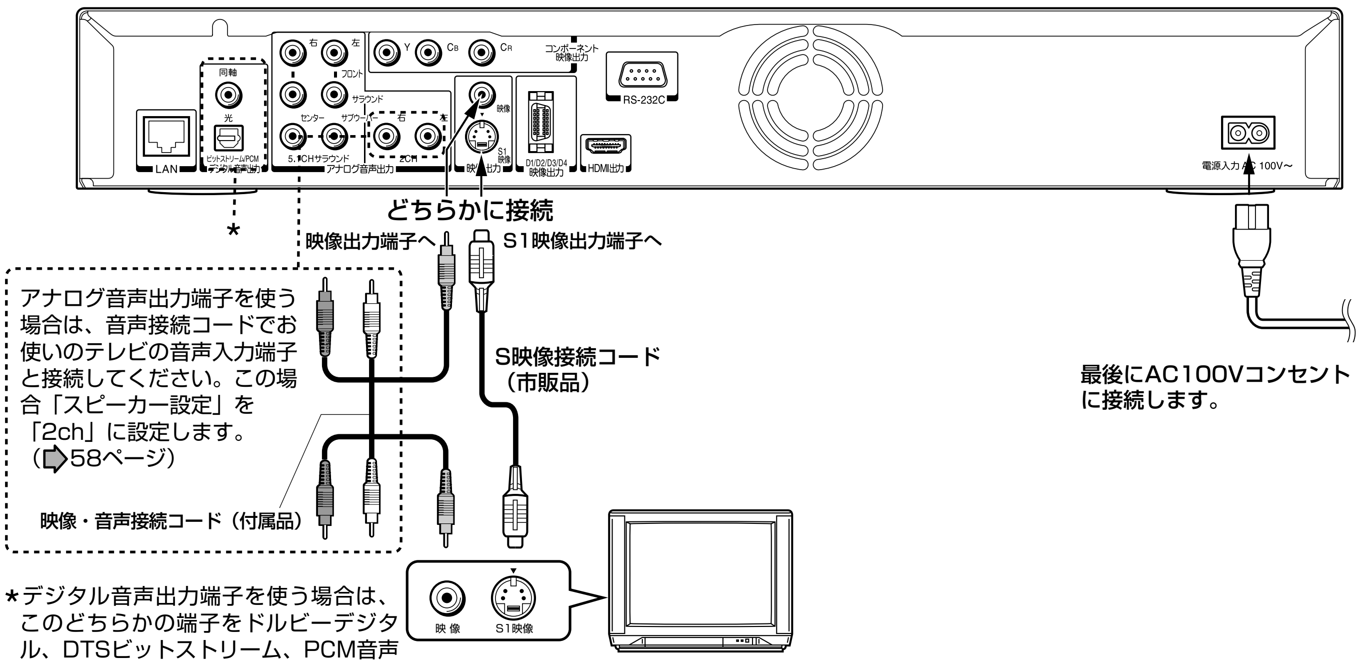
D1端子：480i（インターレース）
D2端子：480i（インターレース）／480p（プログレッシブ）
D3端子：480i、480p、1080i
D4端子：480i、480p、720p、1080i

最後にAC100Vコンセントに接続します。

本機は、HDMI 映像出力端子と D 端子／コンポーネント映像出力端子の両方から同時に信号が出せますが、ディスクによっては、ハイビジョンコンテンツまたはアップコンバートされた DVD コンテンツをご覧になっているときに、D 端子／コンポーネント映像出力端子からの出力が制限される場合があります。

接続が終わったら、23ページの設定を行なってください。

S 端子または映像（黄）端子付きテレビとの接続



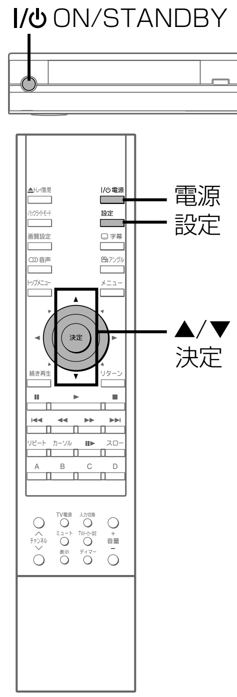
アナログ音声出力端子を使う場合は、音声接続コードでお使いのテレビの音声入力端子と接続してください。この場合「スピーカー設定」を「2ch」に設定します。（58ページ）

最後にAC100Vコンセントに接続します。

*デジタル音声出力端子を使う場合は、このどちらかの端子をドルビーデジタル、DTSビットストリーム、PCM音声対応機器のデジタル音声入力端子に接続してください。（25ページ）

接続が終わったら、23ページの設定を行なってください。

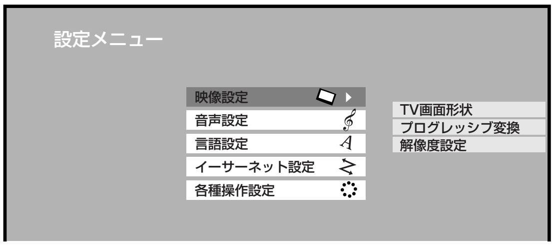
ステップ3 解像度の設定



1 テレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選ぶ

2 「**電源**」を押して、本機の電源を入れる（➡30ページ）

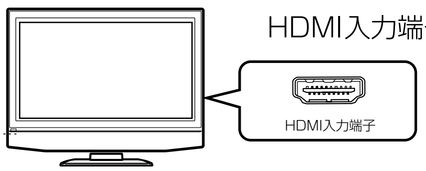
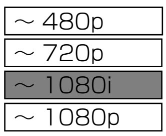
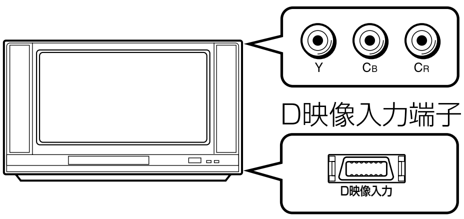
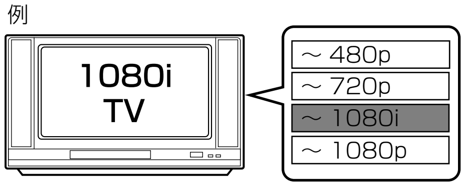
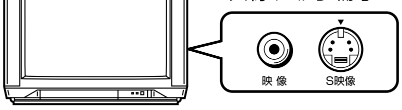
3 「設定メニュー」が表示されない場合は「**設定**」を押す



4 方向ボタン（▲/▼）で「映像設定」を選び、「**決定**」を押す

5 方向ボタン（▲/▼）で「解像度設定」を選び、「**決定**」を押す

6 お使いのテレビに合わせて、方向ボタン（▲/▼）で解像度を選ぶ（下記表を参照）

テレビの入力端子	解像度設定
HDMI入力端子 	解像度を選んでください。 例 
コンポーネント映像入力端子 D映像入力端子 	接続したテレビに合わせて解像度を選んでください。 例  「～1080p」には設定しないでください。
S映像または映像入力端子 	「解像度設定」の必要はありません。

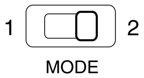
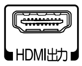
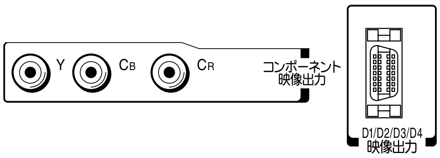
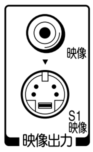
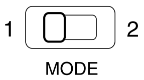
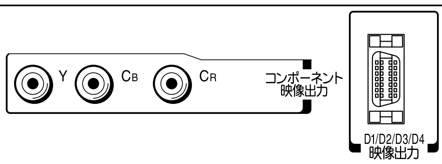
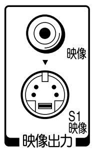
720 プログレッシブ対応のテレビには「～ 720p」、1080 プログレッシブ対応のテレビには「～ 1080p」というように、本機の解像度をお使いのテレビになるべく合わせて設定すると、おおむね最適な画質で楽しめます。
次ページの表もあわせてご覧ください。

7 「**決定**」を押す

8 「**設定**」を押して「設定メニュー」を閉じる

テレビとの接続（つづき）

■ 設定と出力解像度

MODEスイッチの設定（⇨20ページ）	本機の出力端子	解像度設定（⇨23ページ）			
		～480p	～720p	～1080i	～1080p
		480p	720p[1] まで	1080i[1] まで	1080p[1] まで
		480p[2]	720p[2]	1080i[2]	映像が 出ません
		映像が出ません			
		映像が出ません			
		480i			
		480i			

1　1080p ＞ 1080i ＞ 720p ＞ 480p の順で接続したテレビに合った解像度に自動で切り換わります。
2　HDMI 出力端子も同時に接続しているときは、HDMI 出力端子からの出力解像度に準じます。

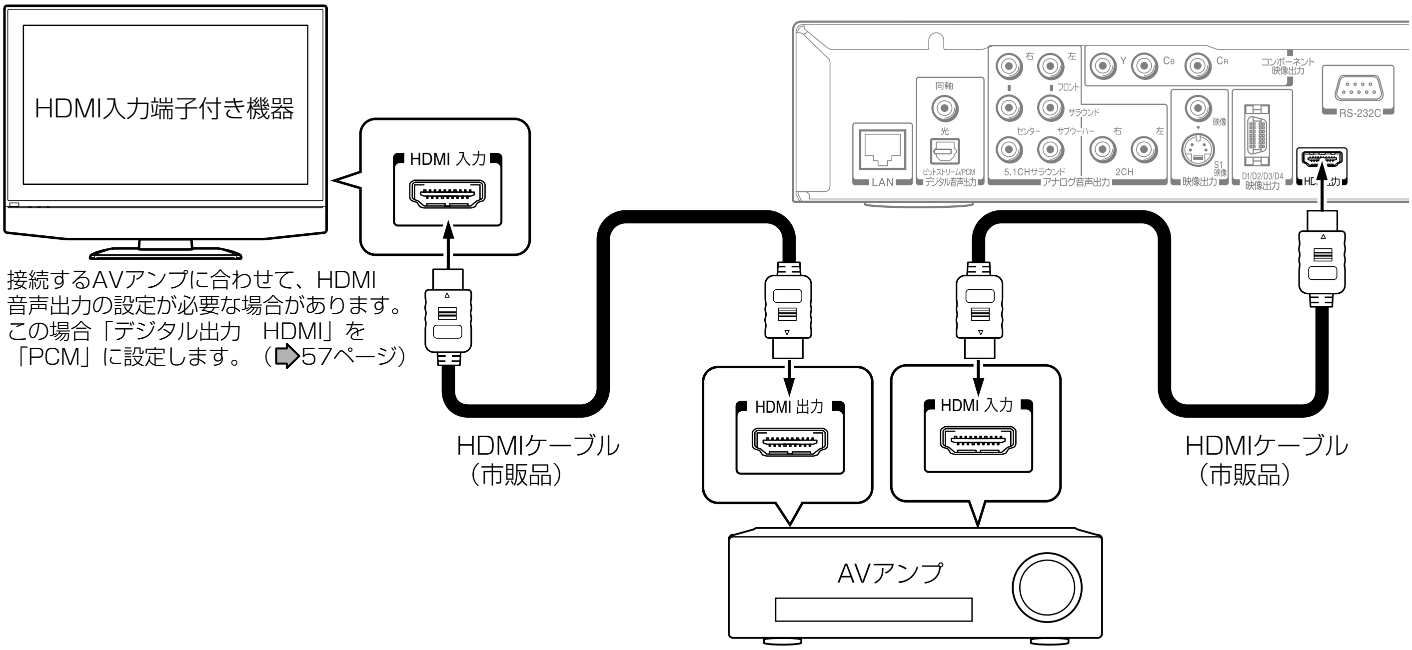
AVアンプとの接続

お使いのAVアンプにHDMI入力端子がついていれば、本機のHDMI出力端子に接続して、ドルビーデジタルプラスやドルビー TrueHD*の迫力ある音声が楽しめます。AVアンプの音声入力端子がHDMIでなく光デジタルでも、ドルビーデジタルとDTS音声入力対応のアンプであれば、ドルビーデジタルプラスやドルビー TrueHDの音声はダウンコンバートしてドルビーデジタルやDTSと同じように楽しめます。

＊ ドルビー TrueHDは、HD DVDディスクなどの高精細映像と高品位サウンドをホームシアターで楽しめるシステムです。

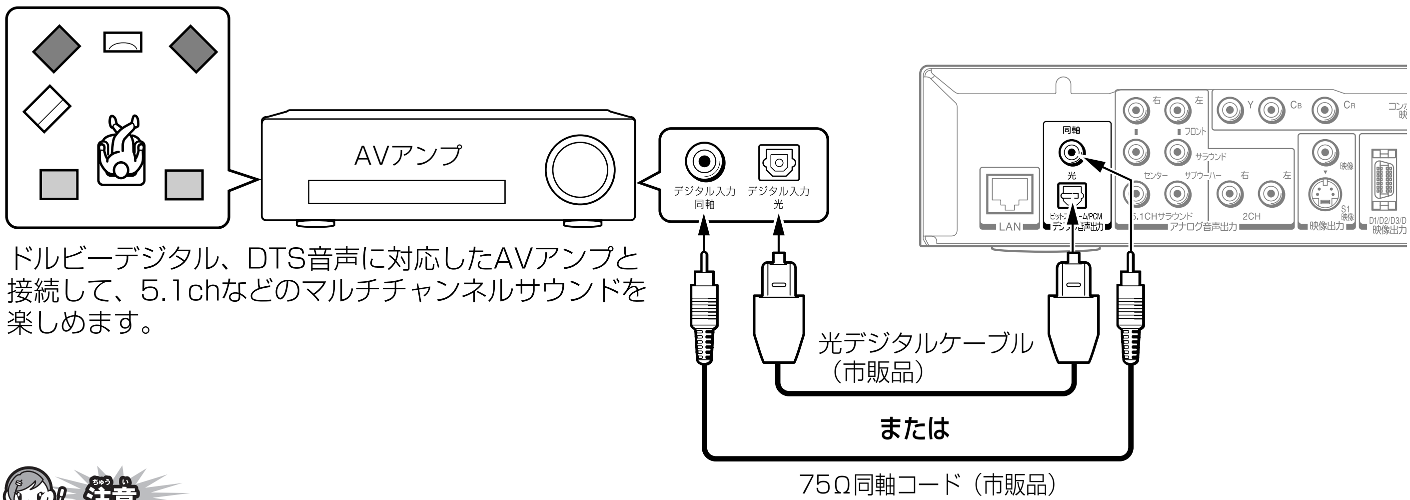
HDMI 出力端子を経由する

以下のように接続し、「デジタル出力　HDMI」（57 ページ）の設定を行なってください。



デジタル音声出力端子を使う

以下のように接続し、「デジタル出力　光（同軸）」（57 ページ）の設定を行なってください。



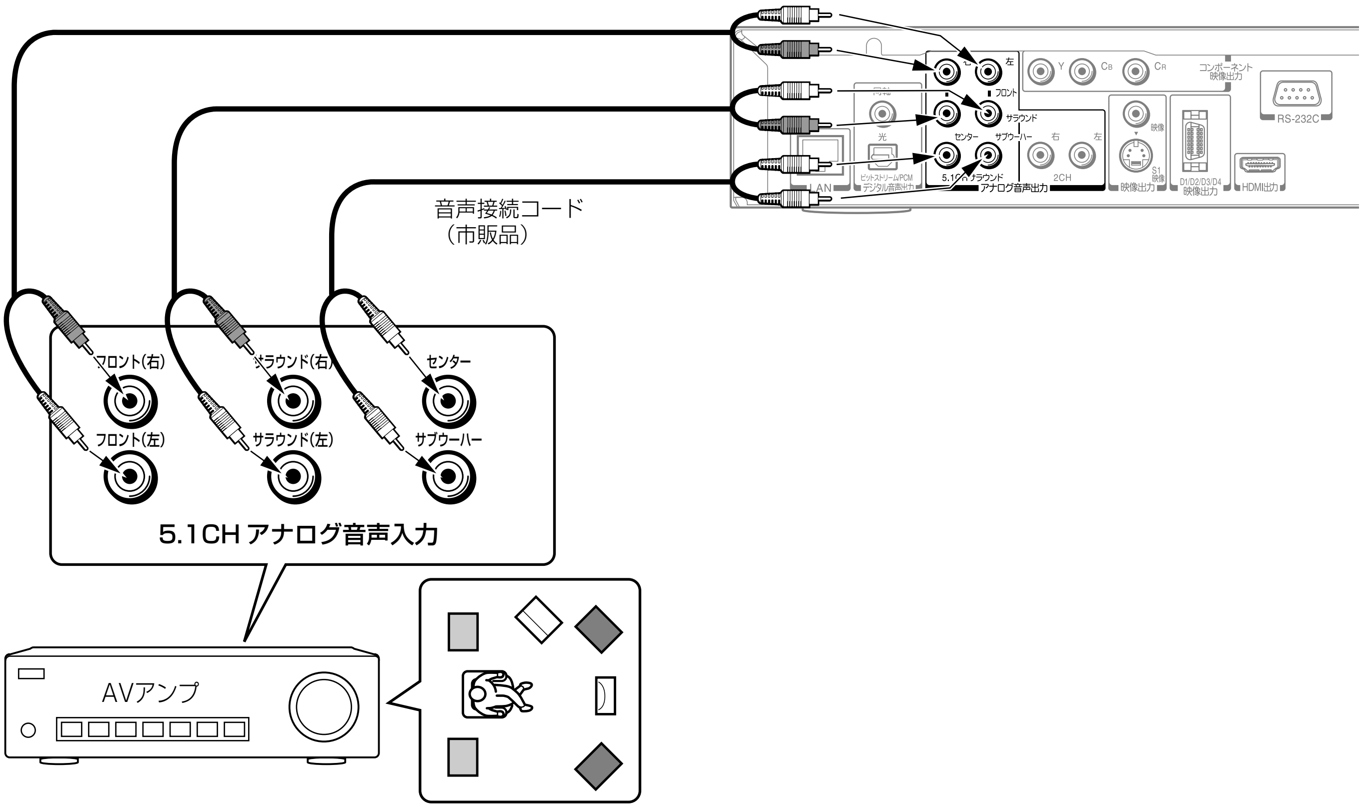
注意

- 本機のビットストリーム／ PCM 音声出力端子に、ドルビーデジタル、DTS のデコード機能を搭載していない AV デコード製品を接続してお使いになるときは、「デジタル出力　光（同軸）」（57 ページ）の設定を必ず「PCM」にしてください。大音量によって耳に障害を被ったり、スピーカーを破損したりするおそれがあります。

AVアンプとの接続(つづき)

5.1CH アナログ音声出力端子を使う

以下のように接続し、「スピーカー設定」(➡58 ページ)の設定を行なってください。



お知らせ

- ドルビーデジタルプラス、DTS-HD*(コアストリーム)は、5.1チャンネルのみの対応です。
- DTS-HDはコアストリームのみの対応です。全チャンネルには対応していません。

＊ DTS-HDは、HD DVDディスクなどの高精細映像と高品位サウンドをホームシアターで楽しめるシステムです。

3 再生（基本編）

ディスクを再生してみましょう。

ディスクについて

再生できる市販ディスク

ディスク	内　容
HD DVD ビデオディスク	・12cm
DVDビデオ ディスク	・12cm ／ 8cm ・リージョン番号が 2およびALL 本機のリージョン（地域）番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に②のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本機では再生できません。
音楽用CD	・12cm ／ 8cm

その他再生できる記録済みディスク

ディスク	内　容
DVD-RW Ver.1.0 を除く	・DVD VRモード録画（CPRM対応） ・DVD Videoモード録画 ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。
DVD-R DVD-R For DL	・DVD VRモード録画（CPRM対応） ・DVD Videoモード録画 ・4.7GB For General ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。

ディスク	内　容
CD-RW	・CD-DA（音楽用CD）フォーマット ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。
CD-R	・CD-DA（音楽用CD）フォーマット ※ファイナライズ済みのディスクに限ります。

お知らせ

- 本機で再生できる映像方式は、日本国内でのテレビ放送方式に従っています。
- 上記のディスクでも規格外のディスクなどは、再生できません。
- 上記以外のディスクは再生できません。上記のディスクでもディスクの状態によっては、再生できない場合があります。（上記のディスクすべての再生を保証するものではありません。）
- DVD VRモード2.0（HD DVDのVRモード）には対応していません。
- ブルーレイディスクは再生できません。

ディスクの互換性とその他のお知らせ

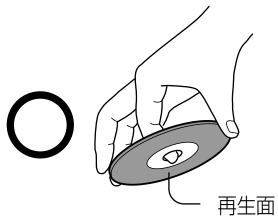
- ●HD DVDは新規格です。ディスクによっては再生できないものもあります。
- ●高解像度の映像コンテンツの再生、あるいは従来画質のDVDをアップコンバート(従来画像の解像度を電子的にHDのレベルまであげることをいいます。)再生をモニターで楽しむ場合は、HDMI入力またはHDCP対応DVIポートのあるモニターが 必要です。
- ●HD DVDディスクまたはDVDビデオディスクの中には一部の操作や機能が使えないものがあります。
- ● ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HD（コアストリームに限る)は、5.1チャンネルのみの対応です。
- ●DTS-HDは、コアストリームのみの対応です。
- ●ピックアップレンズやディスクの構造上、ディスクによっては本機で使えないことがあります。
- ●CD-R/CD-RWを再生する場合は、CD-DAフォーマットで記録したCD-R/CD-RWをお使いください。
- ●機能の中には将来的に使用を予定しているものもあります。
- ●本機では、ディスクに関する情報やダウンロード内容を内部のフラッシュメモリーで一時的に記憶します。これらの記憶期間は、お使いのディスクによって異なります。

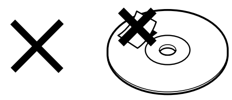
お知らせ

- 本機内部のプログラム(ファームウェア)のアップデート(更新機能)がご利用になれます。(インターネット接続が必要です。)⇨61ページをご覧ください。

ディスクの取扱いかた

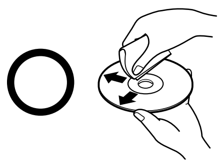
- ●再生面には手を触れないでください。
- ●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

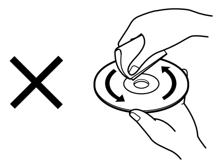




ディスクのお手入れのしかた

- ●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下、再生不良の原因となります。メガネふきのような柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。





- ●シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。
- ●ディスクの説明書もよくお読みください。

ディスクの保管のしかた

- ●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- ●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
  専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。
- ●ディスクの説明書もよくお読みください。

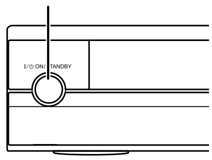
電源を入れる／ディスクを入れる

電源を入れる

1 本体 ◯（I/⏻ ON/STANDBY） または リモコン（I/⏻電源） を押す

ON/STANDBYボタン／電源インジケーター

電源ボタン





- 電源がはいると、本体の電源インジケーターが、赤（待機状態）から青（電源入り状態）に変わります。
- 操作できる状態になるまで多少時間がかかります。
- 本機の電源をはじめて入れたとき、「設定メニュー」が表示されます。⇨54、55、61ページをご覧になり、時刻設定をしてください。

電源の切りかた

1 本体 ◯（I/⏻ ON/STANDBY） または リモコン（I/⏻電源） を押す

電源が切れて、本体の電源インジケーターが赤（待機状態）になります。

お知らせ

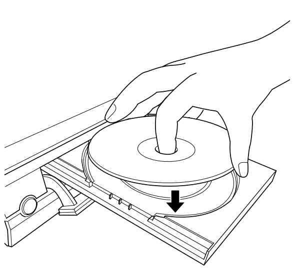
- 本機が操作中に止まってしまい、15分以上何も動作せず、本体やリモコンのボタンに反応しなくなった場合は、本体の「電源」を約10秒間押しつづけると、強制的に電源を切ることができます。ただし、これは非常時のための機能であり、データやディスク自体に障害が出る可能性が高いので、この機能を使用するときは十分注意して、頻繁な使用は避けてください。

ディスクを入れる

1 本体（⏏OPEN/CLOSE） または リモコン（⏏トレイ開/閉） を押す

ディスクトレイが開きます。

2 ディスクを置く



ラベル面を上にして、内側の溝に合わせて置きます。

両面ディスクの場合は、再生する面の表示を上にして、内側の溝に合わせて置きます。

ディスクを置いたら、「トレイ開／閉」を押す。

お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、ボタン操作で行なってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイが閉まる途中で止まった場合、保護機能によって自動的にもう一度出てきます。止まった状態で無理に閉めようとすると、破損することがありますのでご注意ください。
- 万一ディスクがトレイから取り出せなくなった場合は、いったん本機の電源を切ります。その後本体の「トレイ開／閉」ボタンを押せば、本機の電源がはいってディスクトレイが開くことがあります。この操作を行なってもディスクが取り出せない場合は、⇨75ページに記載の「東芝家電修理ご相談センター」までご相談ください。

ディスクを再生する

HD DVD	DVDビデオ	CD
DVD-RW	DVD-R	
CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)	



準備
1 テレビの電源を入れて、本機を接続しているビデオ入力を選ぶ
2 本機の電源を入れる（30ページ）

1 ディスクを入れ、トレイを閉じる（30ページ）

ディスクの再生が始まります。

●再生が始まらないときは…

［▶］を押す

HD DVD **DVDビデオ**

トップメニューが記録されているディスクは、再生したときにメニュー画面が表示されます。
ディスクによっては、メニュー画面が自動的に表示されず、［トップメニュー］や［メニュー］ボタンを押して表示させる場合があります。
「トップメニューを使って再生する」（32ページ）

DVD-RW **DVD-R**

タイトルメニューが記録されているディスクでは、見たい内容を選べるメニュー画面を表示できます。
「録画したディスクのメニューを使って再生する」
（32ページ）

CD **CD-RW (CD-DA)** **CD-R (CD-DA)**

再生が自動的に始まります。

再生を停止する

［■］を押す

再生を終了します。

再生を一時停止する

再生中に［❚❚］を押す

再生が一時停止します。
［▶］を押すと、普通の再生に戻ります。

お知らせ

• HD DVDディスクやDVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネス）を下げると、見やすくなる場合もあります。これは故障ではありません。

はじめに
接続
再生（基本編）
再生（応用編）
ネット機能
その他

ディスクを再生する（つづき）

トップメニューを使って再生する

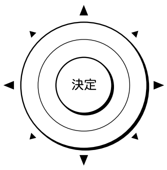
HD DVD　DVDビデオ

市販のディスクには、全体の構成を確かめたり、見たい場面が選べるように、トップメニューと呼ばれるメニュー画面が記録されている場合があります。

1 トップメニュー を押す

トップメニューが表示されます。

2 方向ボタンで再生したいタイトルを選ぶ



トップメニューの各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3 決定 を押す

選んだタイトルのチャプター 1 から再生が始まります。

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、「決定」を押さずにもう一度「トップメニュー」を押すと、もとの位置から再生が始まります。（ディスクによって異なります。）
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った再生はできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。
- ディスクによっては「トップメニュー」ではなく「メニュー」を押してメニューを表示するものもあります。

録画したディスクのメニューを使って再生する

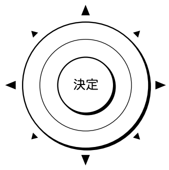
DVD-RW　DVD-R

一般のDVDレコーダーなどで録画されたディスクには、メニューが記録されているものがあります。そのメニューを使って、見たい内容を選びます。

1 メニュー を押す

録画内容が一覧表示されます。

2 方向ボタンで再生したい項目を選ぶ



3 決定 を押す

選んだ項目の再生が始まります。

お知らせ

- メニュー画面は、録画したDVDレコーダーやディスクによって表示が異なります。
  また、ディスクによっては、メニュー画面が表示されない場合もあります。
- DVD VRモードで記録されたディスクでは、録画内容のサムネイル表示はできません。リストだけ表示されますので、方向ボタンで見たい番組を選び、「決定」を押してください。

リモコンのA、B、C、Dボタンを使う

HD DVD

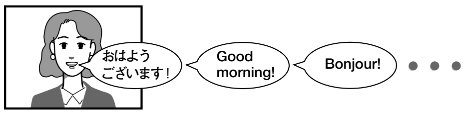
HD DVDディスクを再生中、画面上でボタンを使う指示が表示されたときに使用します。ディスクの内容によってボタン操作の内容が変わります。画面の指示に従って操作してください。



音声の切換

HD DVD | DVDビデオ | DVD-RW | DVD-R

複数の音声が記録されているディスクでは、その中から好きな言語や音声方式に切り換えられます。



1 再生中に、音声を押す

例

音声： 日本語 1

現在の音声設定が表示されます。
- HD DVDビデオディスクによっては表示が出ない場合があります。

音声の種類は、音声によってコードで表示される場合があります。そのときは言語コード表(62ページ)と照らし合わせてください。

2 音声設定の表示中に、音声を押す

ディスクに記録されている音声が切り換わります。

お知らせ

- ディスクによっては、音声の切換えをディスクメニューを使って行なう場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、「DVD音声言語」で設定した音声になります(59ページ)。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- 音声を切り換えた直後は、表示と実際の音声が一瞬ずれることがあります。

DVD VRモードで記録されたディスクの音声切換

DVD-RW | DVD-R （DVD VRモード）

DVD VRモードで記録されたディスクは、以下のように音声を切り換えてください。

1 再生中に、音声を押す

現在の音声設定が表示されます。
- 言語名がコードで表示される場合は、言語コード表(62ページ)と照らし合わせてください。

2 音声設定の表示中に、音声を押して好きな音声を選ぶ

ボタンを押すたびに音声が切り換わります。

例

ステレオ音声の番組

左音声＋右音声
↓
左音声
↓
右音声

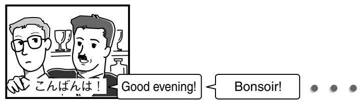
ディスクを再生する（つづき）



字幕の表示と切換

HD DVD　DVDビデオ

字幕が記録されているディスクでは、再生画面に字幕を表示できます。複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、その中から好きな字幕に切り換えられます。



1 再生中に、［字幕］を押す

現在の字幕設定が表示されます。

例

字幕：　日本語　1

- HD DVDディスクによっては表示が出ない場合があります。
- ディスクによっては、言語名が表示されないものもあります。

言語名は、言語によってコードで表示される場合があります。言語コード表（➡62ページ）と照らし合わせてください。

方向ボタン（◀／▶）で「入」「切」が切り換わります。字幕を見るときは「入」にします。

2 字幕設定の表示中に、［字幕］を押す

字幕言語が切り換わります。
表示されない字幕言語は、ディスクに記録されていません。

お知らせ

- ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。
- 再生している場所によっては、字幕を選んでもすぐには表示されないことがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切換えをディスクメニューを使って選ぶ場合があります。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、「DVD字幕言語」で設定した言語になります（➡58ページ）。ディスクによっては、ディスクで決められている字幕言語になります。
- 再生している場面によっては、字幕言語を切り換えても、すぐには切り換えた言語の字幕が表示されないことがあります。

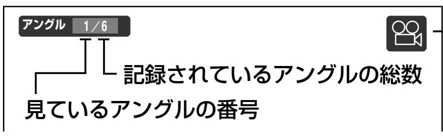
アングルを変えて見る

HD DVD　DVDビデオ

複数のカメラアングルで記録されている（マルチアングル）部分では、その中から好きなアングルに切り換えられます。

1 再生中に、［アングル］を押す

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、本体表示窓と画面にアングルアイコンが自動的に表示されます。表示中に好きなアングルに切り換えることができます。



アングルアイコン
- HD DVDディスクによっては表示が出ないことがあります。

2 アングル番号の表示中に、［アングル］を押して、好きなアングルを選ぶ

お知らせ

- 一時停止中もアングルが選べます。このときは再生を始めてからアングルが切り換わります。
- アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、映像のアングルが切り換わらないことがあります。

いろいろな速さで再生する

HD DVD	DVDビデオ	CD
DVD-RW	DVD-R	
CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)	

チャプター／トラックをスキップ

現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
続けて 2 回押すと、一つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

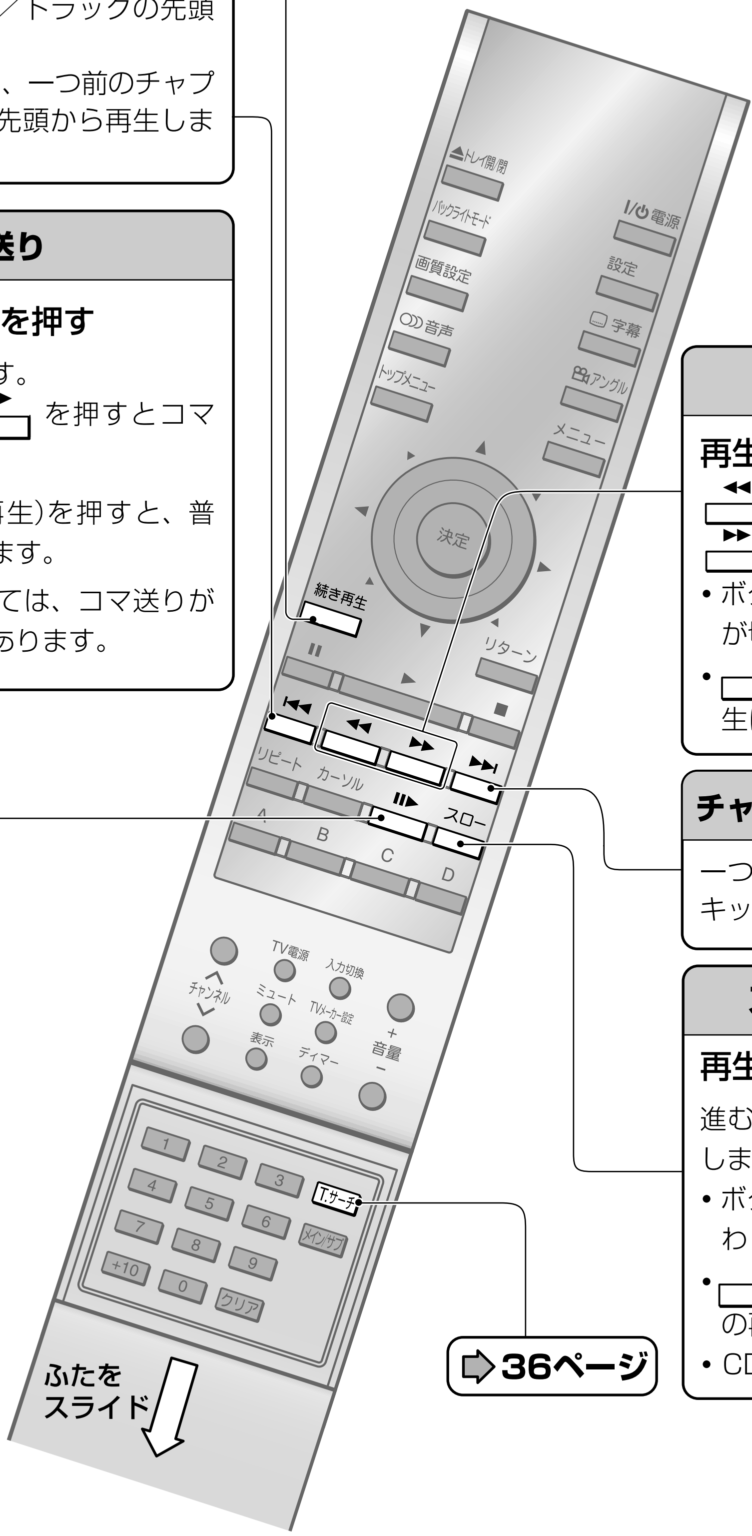
⇨36ページ

コマ送り

再生中に [II] を押す

一時停止になります。
一時停止中に [II▶] を押すとコマ送りします。

- [▶]（再生）を押すと、普通の再生に戻ります。
  ディスクによっては、コマ送りができないものもあります。



早送り／早戻し

再生中に、[◀◀]／[▶▶] を押す

[◀◀]：早戻しをします。
[▶▶]：早送りをします。

- ボタンを押すたびに、再生する速さが切り換わります。
- [▶] を押すと、普通の再生に戻ります。

チャプター／トラックをスキップ

一つ先のチャプター／トラックにスキップし再生します。

スローモーションで再生

再生中に [スロー] を押す

進む方向のスローモーションで再生します。

- ボタンを押すたびに、速さが切り換わります。
- [▶]（再生）を押すと、普通の再生に戻ります。
- CD では操作できません。

⇨36ページ

いろいろな速さで再生する（つづき）

番号を指定して頭出しする（頭出しサーチ）

HD DVD	DVDビデオ	CD	
DVD-RW	CD-R	CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)

記録内容の単位である「タイトル」、「チャプター」、「トラック」には、通常順番に番号がふられています。この番号を使って頭出しします。

1 [T.サーチ] をくり返し押して、入力したい項目を選ぶ

- ディスクによって表示は変わります。

サーチ：タイトル [3] チャプター ---- 時間 -- -- --

↓ タイトル番号入力

サーチ：タイトル 3 チャプター [----] 時間 -- -- --

↓ チャプター番号入力

サーチ：タイトル 3 チャプター ---- 時間 [-- -- --]

↓ 経過時間入力（右記参照）

表示が消えます。

方向ボタン（◀/▶）でカーソルの位置が変わります。

2 番号ボタンで、頭出し先の番号を入力する

[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [0]

例：チャプター／トラック番号25を入力するには

[2] → [5] の順に押す

- 「クリア」を押すと、入力した番号の表示が消えます。設定画面を消すときは、「T.サーチ」を数回（ディスクの種類によって異なります）押してください。

3 [決定] を押す

指定したところから再生がはじまります。

お知らせ

- ディスクによっては、この機能が働かない場合があります。
- 本体表示窓に「ADV」表示が点灯しているあいだは、この機能は使用できません。

経過時間を指定して頭出しする（タイムサーチ）

HD DVD	DVDビデオ	CD	
DVD-RW	DVD-R	CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)

1 [T.サーチ] を押す

ディスクの種類で押す回数が異なります。
カーソルが「-- -- --」の位置に移動するまで押してください。

例

サーチ：タイトル 3 チャプター ---- 時間 [-- -- --]

2 番号ボタンを押して、時間を入力する

[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [0]

例：1時間25分30秒を入力するには

[1] → [2] → [5] → [3] → [0]

- 「クリア」を押すと、入力した項目の時間表示がリセットされます。

3 [決定] を押す

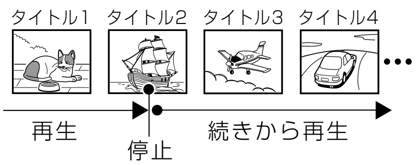
指定したところから再生がはじまります。

お知らせ

- ディスクによっては、この機能が働かない場合があります。
- 本体表示窓に「ADV」表示が点灯しているあいだは、この機能は使用できません。

最後に止めた位置から再生する（続き再生）

HD DVD	DVDビデオ
DVD-RW	DVD-R



再生を中断しても、その続きから再生できます。

再生を止めたあと、[続き再生] を押すと、止めた続きが再生されます。
再生を止めたあと、[■] を押すと、続き再生が解除されます。

お知らせ

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - 「設定メニュー」で、「DVDディスクメニュー」（➡58ページ）や「パレンタルロック」（➡60ページ）の設定をしたとき
  - ディスクトレイを引き出したとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
- 続き再生中に「設定メニュー」を使って設定を変えることはできますが、続き再生中は変更した内容を確定できません。続き再生を解除したあとに設定されます。
- ディスクやシーンによっては、この機能が働かない場合があります。
- 「続き再生」ボタンで使用できる機能は、ディスクによって異なります。
- 本体表示窓に「ADV」表示が点灯しているあいだは、これらの機能は使用できません。

好みの画質で見る

HD DVD	DVDビデオ
DVD-RW	DVD-R

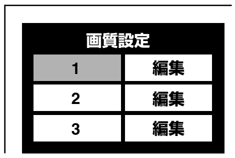
画質をお好みで設定し、設定内容を3種類まで記憶させておくことができます。たとえば、3人それぞれの好みで設定したり、コンテンツのジャンル別に設定したりして、使い分けができます。



好みの画質に設定する

1 画質設定 **を押す**

以下のような表示が出ます。



2 方向ボタンで1～3のどれかの「編集」を選び、決定 を押す

3 方向ボタン（▲ / ▼）で調整する項目（下記参照）を選び、決定 を押す

4 方向ボタン（◀ / ▶）で値を変更する

方向ボタン（▲ / ▼）を押すと、項目が切り換えられます。

5 画質設定 **を押して、設定を終了する**

設定した画質の選びかたは次ページをご覧ください。

項目	設定値
コントラスト	（－ 7）淡くなる ⇔ 濃くなる（＋ 7）
明るさ	（0）暗くなる ⇔ 明るくなる（＋ 14）
色の濃さ	（－ 7）薄くなる ⇔ 濃くなる（＋ 7）
色あい	（－ 7）赤みが強くなる ⇔ 緑色が強くなる（＋ 7）
カラーエンハンス	（－ 7）特定の色が淡くなる ⇔ 特定の色が濃くなる（＋ 7）
エッジエンハンス＊1	（切／ 1 ／ 2） 1: 弱 2: 強 映像の輪郭を際立たせる効果を切り換えます。
モスキート NR＊2	（切／入）MPEG 圧縮時に映像の輪郭部分に発生するモスキート（ちらつき）ノイズを低減します。
ブロック NR＊2	（切／入）MPEG 圧縮時に動きの激しい映像で画面の一部がブロック状に見えるノイズ（ブロックノイズ）を低減します。
ランダム NR＊2	（切／入） 画面内に発生する不規則なノイズを低減します。

＊1 HD DVD ディスクの再生には効果がないことがあります。
＊2 HD DVD ディスクの再生には効果がありません。

好みの画質で見る（つづき）

設定した画質で見る

37ページの手順2で、番号（1～3）を選び、

決定 を押す

設定した画質で映像が見られます。

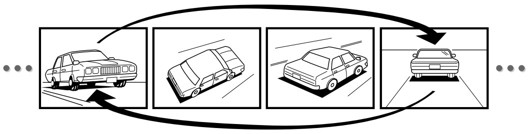
4 再生（応用編）

いろいろな再生や、その他の機能について説明しています。

くり返し再生（リピート再生）

	DVDビデオ	CD
DVD-RW	DVD-R	
CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)	

タイトル、チャプター、トラックなど再生したい部分だけをくり返し再生できます。





1 リピート を押す

くり返し再生の種類が表示されます。

2 方向ボタン(▲ / ▼)で、くり返し再生の種類を選ぶ

ディスクやコンテンツの状態で、くり返し再生の種類が変わります。

例

特殊再生モード
- オールリピート
- タイトルリピート
- チャプターリピート
- A-Bリピート
- リピート解除

「決定」を押すと、リピート再生が解除されます。

オールリピート：
ディスク全体をリピートします。
（DVD VR モードで記録されたディスクはリピートできません。）

タイトルリピート：
同じタイトルをリピートします。

チャプターリピート：
同じチャプターをリピートします。

トラックリピート：
同じトラックをリピートします。

ディスクリピート：
ディスク全体をリピートします。

A-Bリピート：
指定区間をリピートします。
この項目を選んだあとに、「決定」を押します。
下の1）と2）を行ないます。手順3は不要です。

ⒶⒷ リピート　A点指定

1) 上の表示が出ている間に、リピートしたい開始地点で「決定」を押す

B点設定の設定表示に変わります。

ⒶⒷ リピート　B点指定

2) リピートの終了地点で「決定」を押す

指定したA地点とB地点の間をリピート再生します。

3 決定 を押す

くり返し再生が始まります。

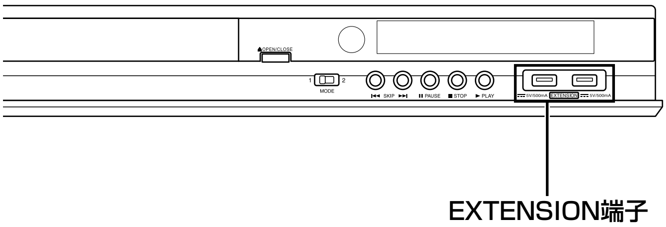


- ディスクによっては、この機能が働かないものがあります。
- くり返し再生は、「■」を押して再生を止めても解除されます。

EXTENSION端子について

HD DVD

ディスクの機能によっては、EXTENSION端子にUSBゲームコントローラーを接続して、いろいろな機能をお使いになれる場合があります。これらの拡張機能は、将来サポート予定です。



カーソル機能を使う

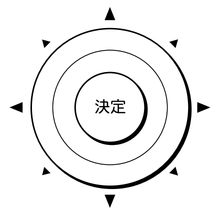
HD DVD

市販のHD DVDのディスクのなかには、ゲームやお絵書きソフトなどがあります。ソフトによっては、カーソル機能を使う場合があります。

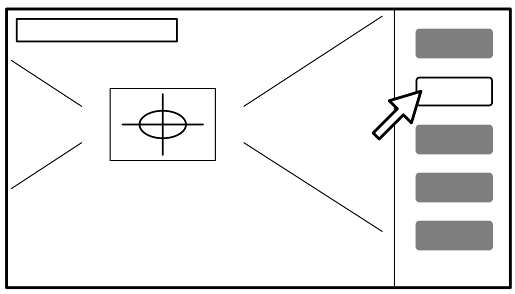


1 カーソル機能を使う専用ディスクを再生中に、 カーソル を押す

2 方向ボタン(8方向)を使ってカーソルを操作する



例：ゲーム／お絵書きソフト



ゲームの標的や選択アイテムを選ぶときにカーソルを動かします。
実際の操作は、ディスクの取扱説明書もご覧ください。
この機能はディスクの仕様によって異なります。

動作と設定の状態を画面で確認する

HD DVD	DVDビデオ	CD
DVD-RW	DVD-R	
CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)	

再生している状態やディスクの種類に合わせて、現在の状態を表示します。

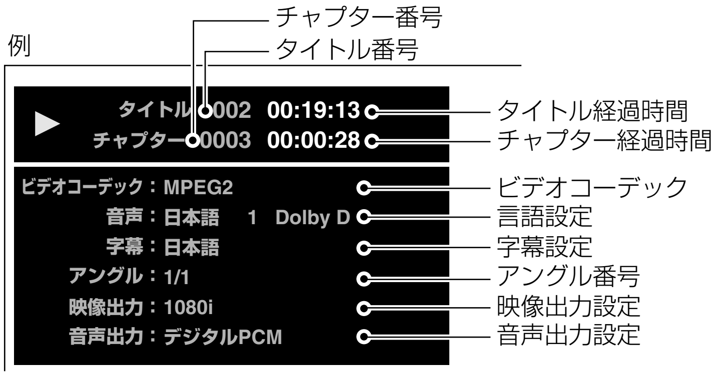


1 表示 ◯ を押す

以下のような表示が出ます。
（ディスクによって内容は異なります。）

HD DVD	DVDビデオ	DVD-RW	DVD-R

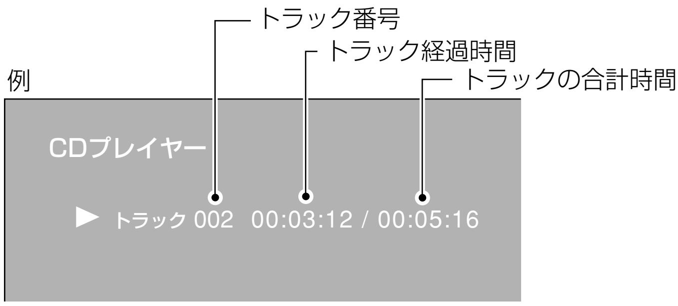
例



※字幕や音声設定は、言語コードで表示される場合があります。
（➡62ページ）

CD	CD-RW (CD-DA)	CD-R (CD-DA)

例



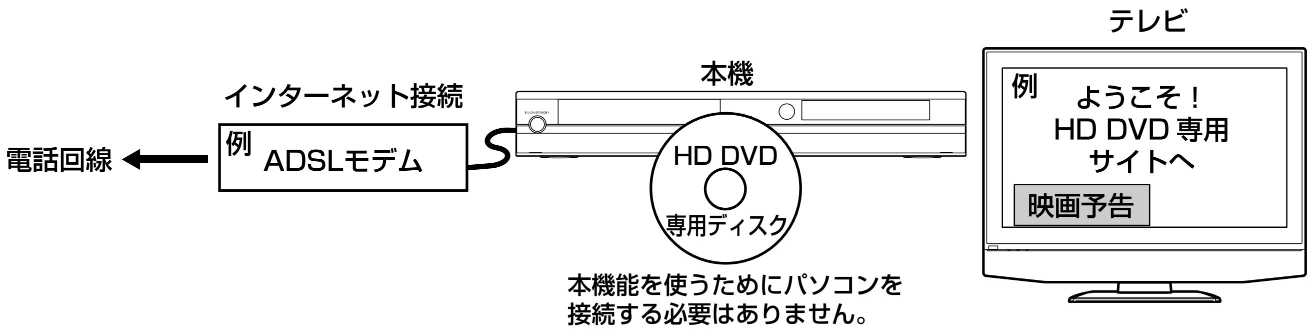
5 ネット機能

常時接続環境のネットワークに接続して
専用のコンテンツを利用してみましょう。

ネット機能を使う（ネット機能の概要）

●HD DVDディスクのなかには、本機をブロードバンド常時接続の環境でインターネット接続しておくと、HD DVD専用サイトなどに直接アクセスできるものがあります。
例えばHD DVD専用サイトなどで、映画などの予告編などがあれば、その内容をインターネットを通じて本機でご覧になれます。

●専用サイトからは、本機を制御するプログラム（ファームウェア）の最新版がダウンロードできます。（☞61ページ）



お使いになる前に

- 本機をお使いになる前に、以下の免責事項、制限事項などをよくお読みください。
- ネットワーク接続環境として、ブロードバンド常時接続の環境が必要です。
- インターネット機能の使用可能なHD DVDディスクが必要です。この機能はディスクの仕様によって異なります。ディスクの仕様によっては、ネットワーク機能がないディスクもあります。

ネットワーク接続環境

ブロードバンド常時接続の環境。

お知らせ

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。
また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。

免責事項

- 本機能によって接続した機器に通信障害等の不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金·通信費用の損失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によっての内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

制限事項

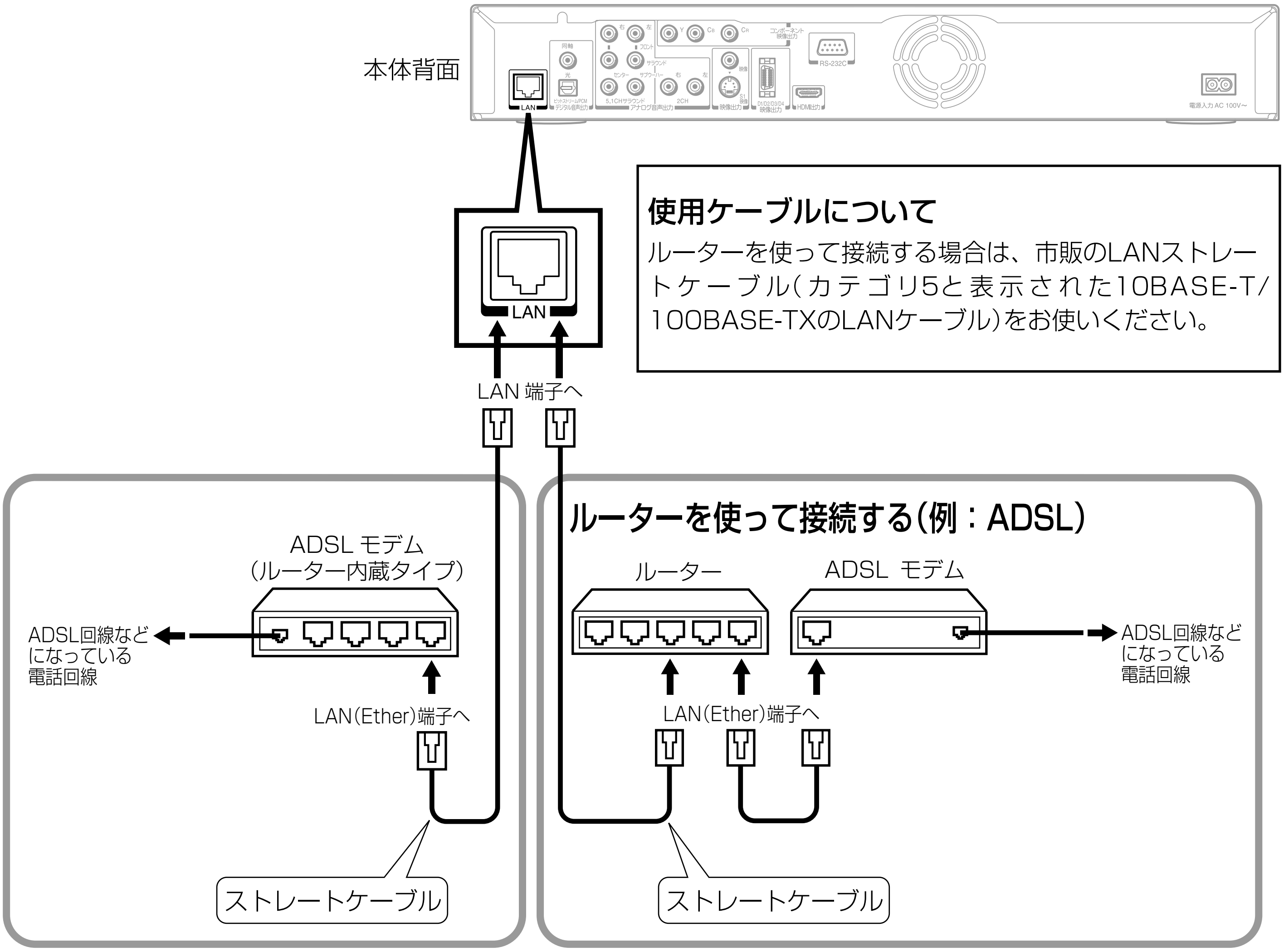
- 本機能は、本機が動作状態のときにだけ使用できます。
- 有線のLAN接続が家庭の環境で困難な場合は、無線LANアクセスポイントと本機につなぐ無線LANイーサネットアダプタ(市販品)をお使いください。
- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての環境での動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生する場合があります。
- プロバイダ(インターネット接続事業者)側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。なお、プロバイダ指定の回線接続機器(ADSLモデムなど)に10BASE-Tまたは、100BASE-TXのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります)
- プロバイダによってはルータの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。
- ブロードバンド常時接続する場合は、カテゴリー５と表示された10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブルをご使用ください。

ネット機能を使う（接続と設定）

HD DVD

本機をブロードバンド常時接続の環境でインターネットに接続します。
HD DVD専用サイトへのアクセスのほかに、本機を制御するプログラム（ファームウェア）の更新がある場合に利用できます。

接続方法

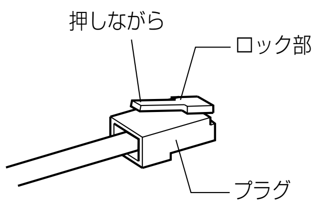


使用ケーブルについて

ルーターを使って接続する場合は、市販のLANストレートケーブル（カテゴリ5と表示された10BASE-T/100BASE-TXのLANケーブル）をお使いください。

注意

- LANケーブルの抜き差しは、プラグを持って行なってください。
  抜くときは、LANケーブルを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。
- LAN端子に電話のモジュラーケーブルを接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- CATVインターネット、Bフレッツ等も使用できますが、さまざまな接続形態がありますので、回線業者やプロバイダの指示に従ってください。



お知らせ

- プロバイダによって、インターネットに接続できる機器の台数が制限されている場合があります。詳しくはご契約のプロバイダにお問い合わせください。

設定手順（概要）

ステップ1 [DHCP]の設定をする

● [DHCP]を[入]に設定します。
ネットワーク接続に必要な情報を自動的に取得します。

● [DNS]を[入]に設定します。
DHCPサーバーから自動的にDNSサーバーアドレスが取得されます。

[DHCP]を[入]に設定しても接続できない場合…

● [DHCP]を[切]に設定します。
IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定します。

● [DNS]を[切]に設定します。
DNSサーバーアドレスを手動で設定します。

ステップ2 プロキシーの設定をする

使用しているプロバイダーでプロキシーの設定が必要な場合に、この設定をします。

ステップ3 NTPサーバーの設定をする

専用のサーバーに本機が自動的にアクセスし、ネットワークタイムプロトコルを使って時刻を調整します。

ステップ4 ネットワーク通信速度の設定をする

お使いのネットワーク接続環境に合わせて通信速度を設定します。

ステップ5 クッキーの設定をする

クッキーの受け入れの可否の設定をします。

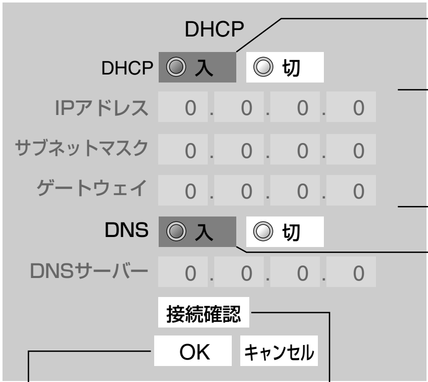
ステップ1 [DHCP]の設定

1 設定 を押す

「設定メニュー」が表示されます。

2 方向ボタン(▲/▼)で「イーサネット設定」を選び、決定 を押す

3 方向ボタン(▲/▼)で「DHCP」を選び、決定 を押す



1) [入]を選び、「決定」を押す。

設定不要

2) [入]を選び、「決定」を押す。

3) 「決定」を押すと、接続確認が始まります。接続に成功するとIPアドレスが表示されます。

もし、IP アドレスが表示されず、接続に失敗したら

・画面上の[DHCP]を[切]にして、「決定」を押す

IP アドレスを数字ボタンで入力する。 ネットワークにパソコンが接続されている場合、パソコンと同じサブネット内の異なるアドレスを設定します。 例：パソコンの IP アドレスが 192.168.1.10 の場合、本機を 192.168.1.15 に設定します。
サブネットマスクを数字ボタンで入力する。 接続するネットワーク環境のサブネットマスクを設定します。 例：255.255.255.0
ゲートウェイを数字ボタンで入力する。 本機がゲートウェイを使う場合に設定します。

・画面上の[DNS]を[切]にして、「決定」を押す

DNS サーバーのアドレスを数字ボタンで入力する。 本機が DNS を使う場合に設定します。 例：192.168.1.1

4) 設定が終了したら、[OK]を選び、「決定」を押す。
設定画面が消えます。

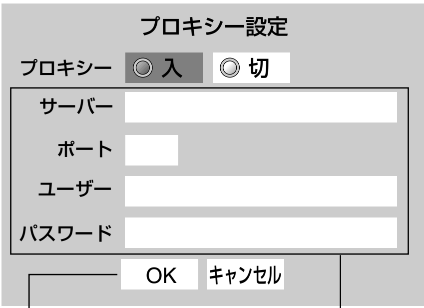
ネット機能を使う（接続と設定）（つづき）

ステップ2 プロキシーの設定

使用しているプロバイダーでプロキシーの設定が必要な場合に、この設定します。

1 [イーサネット設定]メニューで、[プロキシー設定]を方向ボタン(▲/▼)で選び、決定を押す

2 プロキシー ［入］を選び、決定を押す



それぞれプロバイダーからの指定のデータを入力します。

1）方向ボタン(▲/▼)で入力する項目を選び、「決定」を押す

2）方向ボタン(▲/▼)で入力し、方向ボタン(◀/▶)で、けたを変更する

3）入力を終了したら、「決定」を押す
同じ要領で他の項目も設定してください。

設定が終了したら、[OK]を選び、「決定」を押す。設定画面が消えます。

ステップ3 NTPサーバーの設定をする

専用のサーバーに自動的にアクセスして、本機の時刻を調整します。

1 [イーサネット設定]メニューで、[NTPサーバー]を方向ボタン(▲/▼)で選び、決定を押す

2 方向ボタン(▲/▼)で「入」「切」のどちらかを選び、決定を押す

入：専用のサーバーに本機が自動的にアクセスして、ネットワークタイムプロトコルを使って時刻を調整します。

切：時計サーバーを使いません。

ステップ4 ネットワーク通信速度の設定

接続しているネットワーク接続環境に合わせて、ネットワークの通信速度を選択します。

1 [イーサネット設定]メニューで、[ネットワーク速度]を方向ボタン(▲/▼)で選び、決定を押す

2 方向ボタン(▲/▼)で速度を選ぶ

接続しているネットワーク接続環境に合わせて、通信速度を設定します。

3 設定が終了したら[OK]を選び、決定を押す

ステップ5 クッキーの設定

クッキーの受け入れの可否を選択します。

1 [イーサネット設定]メニューで、[クッキー設定]を方向ボタン(▲/▼)で選び、決定を押す

2 方向ボタン(▲/▼)で ［許可］または[許可しない]を選ぶ

許可	クッキーが許可されます。
許可しない	クッキーが拒否されます。 サイトによっては利用できる機能が制限される場合があります。

3 [OK]を選び、決定を押す

お知らせ

- クッキー設定で「許可」を選んだときには、ご利用のHD DVD専用サイトが本機やサイトの利用情報を記録する場合があります。
「許可しない」を選んだときは、サイトのすべての機能または一部の機能が働かない場合があります。

■Macアドレスの表示をする

本機のMacアドレスを表示します。
Macアドレスは、ネットワークに接続されている機器を識別するためのアドレスで、機器にあらかじめ割りあてられているため変更できません。

1）[イーサーネット設定]メニューで、
　[Macアドレス]を方向ボタン(▲/▼)で選び、
　(決定) を押す

　Macアドレスが表示されます。

お知らせ

- ルーターのDHCP機能がうまく働かない場合(その場合ゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが取得できずエラーになります。)は、ルーターのメーカーにお問い合わせください。
- 本機を制御するプログラム(ファームウエア)のダウンロードは⇨61ページをご覧ください。
- サーバーのコンテンツやサービスによっては、設定したネットワーク速度で働かない内容や機能もあります。

ネット機能を使う（実際に操作してみる）

HD DVD

HD DVDディスクのなかには、HD DVD専用サイトなどにアクセスできるものがあります。専用サイトで映画などの予告編などがあれば、その内容をインターネットを通して、本機でご覧になれます。



準備 本機がインターネットにアクセスするための接続と設定を、あらかじめ行なってください。（46～49ページ）

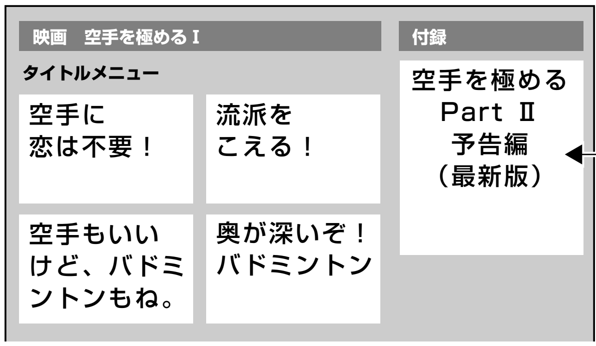
1 HD DVDディスクを入れ、トレイを閉じる

ディスクの再生が始まります。
再生が始まらないときは、［▶］を押します。

2 メニュー画面で、操作したい項目を選ぶ

- メニュー画面が表示されないときは、［トップメニュー］または［メニュー］を押してください。
- 項目を選ぶときは、方向ボタンで選び、（決定）を押します。
- ディスクによっては、カーソル機能を使う場合があります。（41ページ）

例



たとえば、最新版の予告編をインターネットを通して、本機で見られます。

実際の操作は、ディスクの取扱説明書もご覧ください。

■ディスクによっては、ユーザー名／パスワードを入力する必要があります。入力については、次のページをご覧ください。

ユーザー名／パスワードを設定する

HD DVD

HD DVDディスクのなかには、ユーザー名／パスワードの設定をしないと働かない機能が含まれていることがあります。
その場合は、以下の方法で設定をしてください。



1 設定 **を押す**

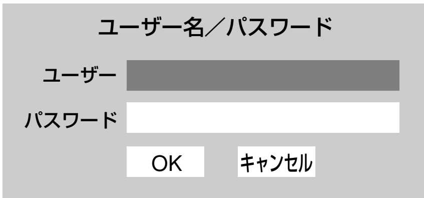
「設定メニュー」が表示されます。

2 方向ボタン(▲/▼)で「イーサネット設定」を選び、決定 を押す

3 方向ボタン(▲/▼)で「ユーザー名／パスワード」を選び、決定 を押す

入力画面が表示されます。

4 [ユーザー]を選び、決定 を押す



ユーザー名を任意で設定します。
方向ボタン(▲/▼)で入力し、方向ボタン(◀/▶)で、けたを変更します。英数字で最大16文字まで入力できます。
入力を終了したら、決定 を押します。

5 [パスワード]を選び、決定 を押す

手順4と同じ方法で、パスワード(任意)を入力します。
英数字で最大16文字まで入力できます。
パスワードは、簡単に他人に知られることのないようにしてください。
入力を終了したら、決定 を押します。

6 [OK]を選び、決定 を押す

「設定メニュー」が消えます。

6 その他

設定項目の詳細や、困ったときの対処方法など
役立つ情報を紹介しています。

初期設定の変更と機能の設定

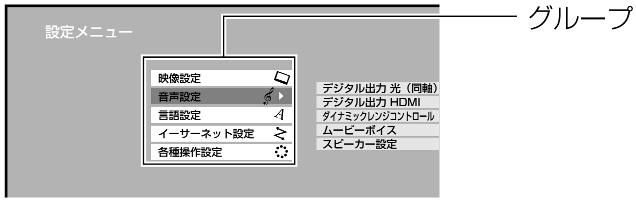


本機では、さまざまな機能があらかじめ設定されています。
お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1 停止中に、[設定] を押す

「設定メニュー」が表示されます。

2 設定したい項目のグループを方向ボタン(▲/▼)で選び、(決定) を押す



3 設定したい項目を、方向ボタン(▲/▼)で選び、(決定) を押す



4 ⇨56ページ以降の説明を参照して、方向ボタンなどで設定し、(決定) を押す

5 手順3、4をくり返して他の項目を設定する

他のグループにうつるときは、手順2に戻ってください。
方向ボタン(◀/▶)で、グループ／設定項目画面に移動できます。

6 [設定] を押す

「設定メニュー」が消え、設定は終わりです。

機能設定一覧

グループ	項目	対応ディスク	設定内容	ページ
映像設定	TV画面形状	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R	接続してあるテレビの画面形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	56
	プログレッシブ変換	HD DVD DVDビデオ DVD-RW DVD-R	再生する素材に合わせて、出力時の変換方式を設定します。（プログレッシブ方式のテレビに接続してお使いのとき。）	56
	解像度設定	HD DVD DVDビデオ DVD-RW DVD-R	接続してあるテレビに合わせて出力する解像度を設定します。	23
音声設定	デジタル出力 光（同軸）	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	アンプなどを本機のデジタル音声出力端子に接続しているときの音声出力方式を設定します。	57
	デジタル出力 HDMI	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	アンプなどを本機のHDMI出力端子に接続しているときの音声出力方式を設定します。	57
	ダイナミックレンジコントロール	HD DVD DVDビデオ DVD-RW DVD-R	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音がよく聞こえるようにする機能を設定します。	57
	ムービーボイス	HD DVD DVDビデオ DVD-RW DVD-R	映画などのセリフを聞きやすくするための機能を設定します。	57
	スピーカー設定	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	使用するスピーカーの数に合わせて、出力チャンネル数などを設定します。	58
言語設定	DVDディスクメニュー	HD DVD DVDビデオ	各国語で記録されているディスクメニューを、どの言語を優先して表示するかを設定します。	58
	DVD字幕言語	HD DVD DVDビデオ	記録されている各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	58
	DVD音声言語	HD DVD DVDビデオ	記録されている各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	59
	画面言語	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	画面表示に使う言語を選びます。	59
イーサネット設定		HD DVD	イーサネット接続機能の設定をします。 また、最新のファームウェアのバージョンアップをするときに、設定が必要です。	47
各種操作設定	パレンタルロック	HD DVD DVDビデオ	パレンタルロック機能の内容や入／切を設定します。	60
	時刻設定	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	本機の時計を合わせます。	61
	画面表示	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	本機の動作状態を画面に表示するかどうかを設定します。	61
	操作音設定	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	本機を操作したときのブザー音の有無を設定します。	61
	スクリーンセーバー	DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	スクリーンセーバー(焼付き防止機能)を働かせるかどうかを設定します。	61
	メンテナンス	HD DVD DVDビデオ CD DVD-RW DVD-R CD-RW (CD-DA) CD-R (CD-DA)	設定を初期状態に戻したり、内部のファームウェアを更新するなど、本機の状態を管理します。	61
	ツインフォーマットディスク	HD DVD	ツインフォーマットディスクを再生するとき、HD DVD層またはDVD層のどちらを再生するかを選びます。	61

初期設定の変更と機能の設定(つづき)

映像設定

TV画面形状

16：9

16：9ワイドテレビ、または画角変換(アスペクトレシオ変換)機能付きテレビを本機に接続しているとき。

4：3パンスキャン

従来の4：3テレビを本機に接続しているとき。
テレビ画面全体に再生画面を表示します。16：9の映像では画面の片側または両側の画像部分がカットされます。

4：3レターボックス

従来の4：3テレビを本機に接続しているとき。
16：9の映像は画面の上下が黒く表示されます。

お知らせ

- HD DVDディスクまたはDVDビデオディスクは、再生できる画面形状があらかじめ設定されています。ディスクによっては、この設定の画面形状どおりに再生されないことがあります。
- 4：3の画面形状だけで記録されたDVDビデオディスクは、この設定にかかわらず4：3の画面形状で再生されます。
- 4：3のテレビを本機に接続した状態で「16：9」を選ぶと、再生画面に水平方向の縮みが発生することがあります。お使いのテレビに合わせて設定を行なってください。
- 画角変換(アスペクトレシオ変換)での再生をするために、テレビ側で画面形状の設定が必要な場合があります。

プログレッシブ変換

DVDビデオディスクの記録内容には、一般的に、フィルム素材(フィルム映像を24コマ／秒で記録)とビデオ素材(映像情報を30コマ／秒で記録)の2種類があります。映像の種類に合わせて設定します。

フィルム

フィルム素材の映像を最適な方法でプログレッシブ出力に変換します。映画などのコンテンツを見るのに適しています。

ビデオ

映像をフィルター処理し、プログレッシブ出力に変換します。ビデオ素材を見るのに適しています。

自動

通常の設定です。映像の種類がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれ適した方法でプログレッシブ出力に変換します。

お知らせ

- 「自動」の設定は、ディスクによっては正確な判別ができない場合があります。輪郭がギザギザになったりぶれたりして見えるなど、不自然な映像となった場合は、「フィルム」もしくは「ビデオ」に設定してください。改善される場合があります。

解像度設定

⇨23ページをご覧ください。

お知らせ

- これらの設定は、接続機器の機能によっては設定した効果が出ない場合があります。

音声設定

デジタル出力 光(同軸)

アンプなどの外部機器を、本機のデジタル音声出力ビットストリーム／ PCM端子に接続してあるとき、どの音声方式を出力するかを設定します。

出力される音声の種類については、63ページをご覧ください。

ビットストリーム

ドルビーデジタル、DTSのデコーダーを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。

ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHDで記録されたディスクを再生すると、ドルビーデジタル音声を出力します。DTS-HDで記録されたディスクを再生すると、DTSビットストリームに変換して、音声を出力します。

PCM

2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS、DTS-HDで記録されたHD DVDまたはDVDビデオディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

デジタル出力 HDMI

HDMI端子付き機器を、本機のHDMI出力端子に接続してあるとき、どの音声方式を出力するかを設定します。

出力される音声の種類については、63ページをご覧ください。

自動

ドルビーデジタル、DTS、MPEG、リニアPCMのデコーダーを内蔵したHDMI機器を本機に接続しているとき。

ディスクの音声をビットストリームに変換して出力します。接続した機器がビットストリーム入力に対応していないときは、リニアPCMに音声を変換して出力します。

PCM

マルチチャンネル対応のHDMI機器を本機に接続しているとき。
マルチチャンネルのリニアPCM音声を出力します。

ダウンミックスPCM

2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。

マルチチャンネル音声で記録されたディスクを再生すると、PCM（2ch）に音声を変換して出力します。

ダイナミックレンジコントロール

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能です。

自動

ドルビー TrueHDで記録されたHD DVDビデオディスクを再生しているときは、ディスクであらかじめ決められている設定にしたがって、自動的に「入」または「切」が選ばれる場合があります。ドルビー TrueHD以外のディスクのときは、ダイナミックレンジコントロール機能が働きます。

入

ダイナミックレンジコントロール機能が働きます。

切

ダイナミックレンジコントロール機能が働きません。

お知らせ

- ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラス、ドルビーデジタル TrueHDで記録されたHD DVDまたはDVDビデオディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルは、ディスクによって変わります。

ムービーボイス

映画などのセリフを聞きやすくするため、セリフの音量を上げる機能です。

入

ムービーボイス機能が働きます。

切

ムービーボイス機能は働きません。

お知らせ

- ドルビーデジタル、ドルビーデジタルプラスで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルは、ディスクによって異なります。

初期設定の変更と機能の設定(つづき)

音声設定

スピーカー設定

アナログ5.1CH音声出力に設定しているときに、この設定が必要です。

5.1ch

5.1チャンネルサラウンドシステムをお使いのとき。
別の画面に移り各種の設定(下記参照)をします。

2ch

2チャンネルステレオシステムをお使いのとき。

■ [5.1ch] を選んだとき…

スピーカーサイズとそれぞれのスピーカー設置距離、クロスオーバー周波数を設定します。

1 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で、設定するスピーカーを選び、「決定」を押す

2 方向ボタン(▲/▼)で、スピーカーサイズを選び、「決定」を押す

●フロント左/フロント右

小さい：スピーカーがクロスオーバーで設定した周波数以下の低周波数の再生能力がないとき
大きい：スピーカーがクロスオーバーで設定した周波数以下の低周波数の再生能力があるとき

●センター/サラウンド左/サラウンド右

小さい：スピーカーがクロスオーバーで設定した周波数以下の低周波数の再生能力がないとき
大きい：スピーカーがクロスオーバーで設定した周波数以下の低周波数の再生能力があるとき
なし：　スピーカーを接続していないとき

●ウーハー

使用：　サブウーハーを接続しているとき
未使用：サブウーハーを接続していないとき

●クロスオーバー

設定した周波数以下の帯域がサブウーハーに振り分けられます。
80Hz/100Hz/120Hzから選択します。

●m(メーター)

視聴位置から、それぞれのスピーカーまでのおおよその距離を設定します。

[クリア]を選び、「決定」を押すと、設定は破棄され前の画面に戻ります。
[終了]を選び、「決定」を押すと、設定を保存して終了します。

3 [次]を選び、「決定」を押す

4 [テスト]を選び、「決定」を押す

それぞれのスピーカーにテスト信号音が出力されます。
方向ボタン(▲/▼)で、どのスピーカーの音量も同じに聞こえるように、音量を調整します。それぞれのスピーカー設定への移動は、方向ボタン(◀/▶)を使います。ここで調整しきれないときは、アンプ側のチャンネルバランスで調整してください。

5 調整が終わったら[OK]を選び、「決定」を押す

言語設定

DVDディスクメニュー

ディスクに記録されている各国語のディスクメニューのうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。

英語：

英語でディスクメニューを表示します。

フランス語：

フランス語でディスクメニューを表示します。

日本語：

日本語でディスクメニューを表示します。

ドイツ語：

ドイツ語でディスクメニューを表示します。

その他：

ディスクメニューを表示する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順1～4を行なってください。

1 「言語コード表」(⇨62ページ)で、希望の言語のコードを選ぶ
2 方向ボタン(▲/▼)で、コードの第1字を選ぶ
3 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)でコードの第2字を選ぶ
4 [OK]を選び、「決定」を押す

お知らせ

• 該当する言語のディスクメニューがない場合は、ディスクで指定された言語で表示されます。

DVD字幕言語

ディスクに記録されている各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。

なし：

字幕を表示しません。

英語：

英語で字幕を表示します。

フランス語：

フランス語で字幕を表示します。

日本語：

日本語で字幕を表示します。

ドイツ語：

ドイツ語で字幕を表示します。

その他：

字幕を表示する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順1～4を行なってください。

1 「言語コード表」(⇨62ページ)で、希望の言語のコードを選ぶ
2 方向ボタン(▲/▼)で、コードの第1字を選ぶ
3 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)でコードの第2字を選ぶ
4 [OK]を選び、「決定」を押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

DVD音声言語

ディスクに記録されている各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。

英語：
英語で音声を再生します。

フランス語：
フランス語で音声を再生します。

日本語：
日本語で音声を再生します。

ドイツ語：
ドイツ語で音声を再生します。

その他：
音声を再生する言語が選べます。
「決定」を押したあとで、以下の手順1～4を行なってください。

1 「言語コード表」(62ページ)で、希望の言語のコードを選ぶ
2 方向ボタン(▲/▼)で、コードの第1字を選ぶ
3 方向ボタン(◀ /▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)でコードの第2字を選ぶ
4 [OK]を選び、「決定」を押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

画面言語

画面表示に使う言語を選びます。

英語：
英語で画面表示をします。

フランス語：
フランス語で画面表示をします。

日本語：
日本語で画面表示をします。

ドイツ語：
ドイツ語で画面表示をします。

イーサネット設定

本機をインターネットに接続してネット機能をお使いになる場合に必要な設定です。「ネット機能」章をご覧ください。

初期設定の変更と機能の設定（つづき）

各種操作設定

パレンタルロック

パレンタルロックに対応したHD DVDまたはDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法は、ディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えたりして再生されるなどの場合があります。

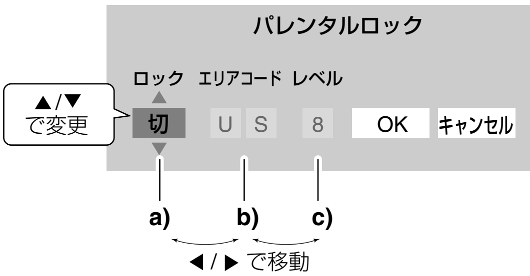
お願い

ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

1　**番号ボタンで4けたの暗証番号を入力し、「決定」を押す**

初めてお使いになる場合は、 番号ボタンで4けたの暗証番号を入力し、設定します。番号を入れまちがえたときは、「決定」を押す前に「クリア」を押して、入力し直します。

2　**各項目を設定します**



a) **方向ボタン(▲/▼)で、[入]または[切]を選ぶ**

入：

パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変更します。

切：

パレンタルロック機能は働きません。
手順3へ

b) **方向ボタン(▲/▼)で、下の表を参照して、設定したい規制レベルの国／地域のコードを入力する**

国／地域	コード
オーストラリア	AU
ベルギー	BE
カナダ	CA
中国	CN
中国香港	HK
デンマーク	DK
フィンランド	FI
フランス	FR
ドイツ	DE
インドネシア	ID
イタリア	IT
日本	JP
マレーシア	MY
オランダ	NL
ノルウェー	NO
フィリピン	PH
ロシア	RU
シンガポール	SG
スペイン	ES
スウェーデン	SE
スイス	CH
台湾	TW
タイ	TH
イギリス	GB
アメリカ	US

c) **方向ボタン(◀/▶)で、設定したい規制レベルを選ぶ**

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「切」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえばレベル7を設定すると、レベル8以上はロックされ、再生できなくなります。

「US」以外を選んだ場合のレベル設定は将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

「US」を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル7：NC-17　　レベル3：PG
レベル6：R　　レベル1：G
レベル4：PG13

3　**[OK]を選び、「決定」を押す**

■　**パレンタルロックの規制レベルを変えるには**

手順1～ 3を行なう

■　**暗証番号を変えるには**

1　**手順1で、「■」を4回押し、さらに「決定」を押す**

暗証番号が解除されます。

2　**番号ボタンで新しい4けたの暗証番号を入力する**

3　**「決定」を押す**

時刻設定

本機の時計を合わせます。

1　方向ボタン(◀/▶)で、「日本時間」を選ぶ

2　方向ボタン(▼)を押して、「年」の行へカーソルを移す

3　番号ボタンで年を入力し、「決定」を押す

4　手順3の要領で、「月」と「日」と「時刻」を入力する

5　方向ボタン(▲/▼)で、「AM」または「PM」を選ぶ

6　方向ボタン(◀)、方向ボタン(▼)の順に押して「OK」にカーソルを移し、「決定」を押す

時計が動きはじめます。

電源コードの抜き差しや停電などのあとは、時計の設定内容は消えます。時計を合わせ直してください。

画面表示

本機の動作状態(「▶」など)を画面に表示するかどうかを設定します。

入：

「▶」などの動作状態を画面に表示します。

切：

「▶」などの動作状態を画面に表示しません。

操作音設定

本機を操作したときの操作音の有無を設定します。

入：

操作音が鳴ります。

切：

操作音が鳴りません。

スクリーンセーバー

静止画像状態が続くと、テレビ画面の焼付きが起こることがあります。これを防止する機能です。これらの機能は、テレビ画面の焼付き軽減のための機能であり、テレビ画面の焼付き防止を保証するものではありません。

自動電源オフ：

静止画が約20分間続くと、本機の電源が自動的に切れます。

入：

静止画が約20分間続くと、スクリーンセーバーが働きます。

切：

スクリーンセーバーは働きません。

お知らせ

- 画面の保護を保証する機能ではありません。
- 解除するには、本体またはリモコンのボタンのどれかを押してください。

メンテナンス

設定を出荷時に戻す

(⇨55ページ)の表にあるすべての設定の内容を、工場出荷時の初期値に戻します。
方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」を押します。

ソフトダウンロード開始

お使いのブロードバンド接続環境のインターネットに、本体背面のLAN端子を接続することで、最新のファームウェアがダウンロードできます。(接続と設定については⇨46～49ページをご覧ください。)以下の手順でダウンロードできます。

- 本機からディスクを取り出します。
- 「設定」を押して設定メニューを表示させ、「メンテナンス」から「ソフトダウンロード開始」を選び、画面のメッセージにしたがって操作します。
- ダウンロード対象のファームウェアが見つかると、自動的にダウンロードが始まります。進行状況が画面に表示されます。
- 最新のファームウェアが見つからなかったときは、メッセージがお知らせして操作手順が終了します。
- ファームウェアを古いバージョンに戻す行為は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

注意

- ダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。ファームウェアのダウンロードの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。動作しなくなった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■　**ファームウェアのバージョンの確認方法**

「ソフトダウンロード開始」を選び、「決定」を押すと、現在のバージョンが表示されます。

Persistent Storage

コンテンツ用のメモリーを管理する機能です。
設定の内容はコンテンツによって変わります。実際の表示にしたがって操作してください。

ツインフォーマットディスク

ツインフォーマットディスクを再生するとき、HD DVD層またはDVD層のどちらを再生するかを選びます。(本機にディスクがはいっているときには設定できません。)

HD DVD

HD DVD層を再生します。

DVD

DVD層を再生します。

お知らせ

- コンビネーションディスクのときは、ディスクの裏表で再生面を選んでください。(ディスクの記載で確認してください。)

言語コード表

記号	言語名
―――	言語なし
CHI(ZH)	中国語
DUT(NL)	オランダ語
ENG(EN)	英語
FRE(FR)	フランス語
GER(DE)	ドイツ語
ITA(IT)	イタリア語
JPN(JA)	日本語
KOR(KO)	韓国語
MAY(MS)	マレー語
SPA(ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語

記号	言語名
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	エスキモー語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語

記号	言語名
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語

記号	言語名
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

出力される音声の種類

ディスク	音声方式	5.1CHアナログ音声出力	2CHアナログ音声出力	デジタル出力 光(同軸)	
				ビットストリーム	PCM
HD DVDビデオ アドバンストコンテンツ	DD Plus/Dolby TrueHD	最大 5.1ch PCM	2ch PCM	Dolbyビットストリーム	2ch PCM
	dts-HD/L-PCM	最大 5.1ch PCM	2ch PCM	DTSビットストリーム	2ch PCM
HD DVDビデオ スタンダード コンテンツ	DD plus	最大 5.1ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM
	True HD 48kHz 96kHz 192kHz	最大 5.1ch PCM 最大 5.1ch PCM 2ch PCM	2ch PCM 2ch PCM 2ch PCM	Dolbyビットストリーム Dolbyビットストリーム Dolbyビットストリーム	2ch PCM 2ch PCM*1 2ch PCM*1
	dts-HD	最大 5.1ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM
	L-PCM 48kHz 96kHz 192kHz	最大 5.1ch PCM 最大 5.1ch PCM 2ch PCM	2ch PCM 2ch PCM 2ch PCM	DTSビットストリーム DTSビットストリーム DTSビットストリーム	2ch PCM 2ch PCM*1 2ch PCM*1
	MPEG	2ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM
DVDビデオディスク	DD	最大 5.1ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM
	L-PCM 48kHz 96kHz	2ch PCM 2ch PCM	2ch PCM 2ch PCM	2ch PCM 2ch PCM*1	2ch PCM 2ch PCM*1
	dts	最大 5.1ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM
	MPEG	2ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM
CD	L-PCM 44.1kHz	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	dts 44.1kHz	最大 5.1ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM
DVD-VR	DD	2ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM
	L-PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	MPEG	2ch PCM	2ch PCM	ビットストリーム	2ch PCM

ディスク	音声方式	デジタル出力 HDMI		
		自動	PCM*2	ダウンミックスPCM
HD DVDビデオ アドバンストコンテンツ	DD Plus/Dolby TrueHD/ dts-HD/L-PCM	接続機器に準ずる	最大 5.1ch PCM*3	2ch PCM*1
HD DVDビデオ スタンダード コンテンツ	DD plus	接続機器に準ずる	最大 5.1ch PCM	2ch PCM
	True HD 48kHz 96kHz 192kHz	接続機器に準ずる 接続機器に準ずる 接続機器に準ずる	最大 5.1ch PCM 最大 5.1ch PCM*3 2ch PCM*3	2ch PCM 2ch PCM*1 2ch PCM*1
	dts-HD	接続機器に準ずる	最大 5.1ch PCM	2ch PCM
	L-PCM 48kHz 96kHz 192kHz	接続機器に準ずる 接続機器に準ずる 接続機器に準ずる	最大 5.1ch PCM 最大 5.1ch PCM*3 2ch PCM*3	2ch PCM 2ch PCM*1 2ch PCM*1
	MPEG	接続機器に準ずる	2ch PCM	2ch PCM
DVDビデオディスク	DD	接続機器に準ずる	最大 5.1ch PCM	2ch PCM
	L-PCM 48kHz 96kHz	2ch PCM 2ch PCM	2ch PCM 2ch PCM*3	2ch PCM 2ch PCM*1
	dts	接続機器に準ずる	最大 5.1ch PCM	2ch PCM
	MPEG	接続機器に準ずる	2ch PCM	2ch PCM
CD	L-PCM 44.1kHz	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	dts 44.1kHz	接続機器に準ずる	最大 5.1ch PCM	2ch PCM
DVD-VR	DD	接続機器に準ずる	2ch PCM	2ch PCM
	L-PCM	2ch PCM	2ch PCM	2ch PCM
	MPEG	接続機器に準ずる	2ch PCM	2ch PCM

＊1:　ダウンサンプリングPCM
＊2:　最大 5.1ch PCM出力するのは、接続した機器がマルチチャンネルに対応しているときだけです。
＊3:　画像解像度の設定が[720p]、[1080i]または[1080p]のときだけ出力します。[480p]のときには接続機器に準じます。

お知らせ

- アドバンストコンテンツは市販のHD DVDディスクの多くでお楽しみいただけます。
- デジタル音声出力端子でアンプなどに接続する場合、二カ国語の音声切換ができない場合があります。このようなときは「デジタル出力　光(同軸)」を「PCM」にしてください。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。

ホームページアドレス http://www3.toshiba.co.jp/hdd-dvd/contact

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"（現状）の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント **原文（英文）**

対応ソフトウェアモジュール	エンドユーザーライセンスアグリーメント	対応ソフトウェアモジュール	エンドユーザーライセンスアグリーメント
Linux Kernel Busybox	Exhibit A	OpenSSL	Exhibit C
glibc	Exhibit B	freetype	Exhibit D

ExhibitA

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation,Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License.

(Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code,which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4.You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6.Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7.If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報(つづき)

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8.If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

ExhibitB

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/ or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. Toachieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/ or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報(つづき)

above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely welldefined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any applicationsupplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4.You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5.A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6.As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7.You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted,

and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8.You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10.Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11.If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12.If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14.If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15.BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>

Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990

Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報(つづき)

ExhibitC

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.

See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http:// www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

ExhibitD

Portions of this software are copyright © 2005 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

- この製品にはOpenSSLプロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、および変更することは禁止されています。

困ったときは

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

このようなとき	ここをお調べください
■電源がはいらない	→ 電源プラグが抜けていませんか。電源コードの接続を確かめてください。
■使用中に電源が切れる	→ 背面の通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所に本機を設置していませんか。通風孔と設置状態を確認してください。本機内部の温度が上がりすぎると、自動的に電源が切れるようになっています。
■画像が出ない	→ 本機とテレビをつなぐ接続コードが抜けている、または抜けかけていませんか。接続を確かめてください。 → 接続したテレビに本機の信号が出るように、テレビの入力を切り換えてください。 → MODEスイッチと「解像度設定」を確認し、正しく設定してください。（24ページ） → HDMI出力端子とD端子／コンポーネント映像出力端子の両方を、同時に使っていませんか。どちらか一方で接続し、それに合った設定をしてください。
■音声が出ない	→ 音声接続コードが抜けていませんか。 → 接続した機器の音量が最小になっていませんか。音量を調節してください。 → 音声接続コードをつないでいる機器の音声入力切換を、本機からの入力に合わせてください。 →「デジタル出力　光(同軸)」または「デジタル出力　HDMI」（57ページ)を、接続機器と接続方法に合わせて正しく設定してください。 → 音声が出力されるように解像度設定を変更してください。 → 音量の設定が最小になっていませんか。設定(58ページ)を確かめてください。 → ドルビーデジタルプラス、ドルビー TrueHD、DTS-HDまたはDTSの音声を、本機のデジタル音声出力端子から出力して聞くときは、接続先のAVアンプやプロセッサーで、本機からの入力を選び、それぞれの音声が聞けるように設定してください。
■マルチチャンネル音声の出力レベルが小さい	→「スピーカー設定」（58ページ)を、「2ch」に設定してください。
■マルチチャンネル音声が出ない	→「スピーカー設定」（58ページ)を、「5.1ch」に設定してください。
■再生できない	→ 本機で再生できるディスクの種類を確かめてください。（28ページ） → ディスクによごれや傷がついていませんか。ディスクを確認し、きれいにしてください。 → DVD-RWやDVD-Rの場合は、ファイナライズしてから本機で再生してください。 → パレンタルロック対応のディスクの場合は、本機でパレンタルロックが設定されていると再生が制限されます。「パレンタルロック」(60ページ)を解除、または規制レベルを変更してください。
■再生画像が乱れる	→ 本機の映像を、ビデオデッキやビデオ内蔵テレビなどを通してご覧になると、コピーガードの働きにより、正常な画像にならないことがあります。本機とテレビは必ず直接つないでください。
■リモコンがきかない	→ リモコンの電池が消耗していませんか。電池を交換してください。 → 操作範囲や向きを確かめてください。
■画面が止まり、リモコンでも本体でも操作できなくなった	→ 本体の電源ボタンを約10秒間長押しすると、強制的に電源が切れます。電源を入れ直してお使いください。

仕様

■ 消費電力
41.0W

■ 電源
AC100V　50/60Hz

■ 質量
6.2kg

■ 外形寸法
幅438×高さ74.4×奥行344mm
（突起含まず）

■ 信号方式
NTSCカラーテレビジョン方式

■ 使用レーザー
半導体レーザー　波長405nm/650nm/780nm

■ 映像出力
1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、ピンジャック×1系統

■ S1映像出力
（Y）1.0V（p-p）（75Ω）、同期負
（C）0.286V（p-p）（75Ω）
ミニDIN4ピン×1系統

■ コンポーネント映像出力（Y、CB、CR）
Y出力 1.0V（p-p）（75Ω）、同期負、
ピンジャック×1系統
CB、CR出力 0.7V（p-p）（75Ω）、
ピンジャック×各1系統

■ D1/D2/D3/D4端子出力
14ピン、2列、1.27mmピッチ　出力信号D1/D2/D3/D4
Y出力 1.0V（p-p）（75Ω）
CB出力 0.7V（p-p）（75Ω）
CR出力 0.7V（p-p）（75Ω）

■ 音声出力（アナログ音声出力）
2.0V（rms）、出力インピーダンス2.2KΩ以下、
ピンジャック（L、R）×1系統

2.0V（rms）、出力インピーダンス2.2KΩ以下、
ピンジャック×6

■ 音声出力（ビットストリーム／ PCM端子）
光コネクター×1系統

同軸ピンジャック×1系統　0.5V（p-p）、75Ω

■ LANポート（LAN端子）
100BASE-TX/10BASE-T×1

■ EXTENSION端子
EXTENSION端子×2系統

■ RS-232C端子
DSUB 9ピン

■ HDMI出力端子
19ピン

■ リモコン
ワイヤレスリモコン
SE-R0259

■ 使用条件
温度：5℃～35℃、動作姿勢：水平

- 意匠、仕様、ソフトウェアなどは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なる場合があります。
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。

メモ

メモ

商品の保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

補修用性能部品について

- 当社は、HD DVDプレーヤーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。ただし、業務用にご使用の場合、あるいは特殊使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

修理を依頼されるときは～出張修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

商品の修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容	
品名	HD DVDプレーヤー
形名	HD-XA2
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
便利メモ お買い上げ店名	☎（　　）　－

お客様へ…おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

商品を修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

上記以外で、転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41**（トウシバ ヨイ）

（※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません。）

電話で 24時間 365日 お応えします

※ 携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）044-543-0220（通話料がかかります）
西日本地区（上記以外）06-6440-4411（通話料がかかります）

・「東芝家電修理ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

■新商品などの商品選びや、初期導入などよく使われる機能に関する取扱い方法、およびネットワークなどの高度な取扱方法などのご相談については、裏表紙をご覧ください。

商品のお問い合わせに関して

― 商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談 ―

・新製品などの商品選びのご相談
・各種ケーブルの接続などのご相談
・リモコン設定等の基本的な設定
・再生等の基本操作
注)ネットワーク接続設定を除きます。

上記についてのお問い合わせは

『東芝DVDインフォメーションセンター』

（一般回線からのご利用は） フリーダイヤル（通話料無料） **0120-96-3755**
（フリーダイヤルは携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません）

（携帯電話からのご利用は） ナビダイヤル（通話料有料） **0570-00-3755**
（PHS・一部のIP電話などでは、ご利用になれない場合がございます）

月～土　10:00 ～ 20:00(当社指定休業日等を除く)
日曜日・祝日　10:00 ～ 16:00

― 本機に関する高度な取扱方法 ―

・ネットワークに関してのご相談

上記についてのお問い合わせは

『RDシリーズサポートダイヤル』

ナビダイヤル（通話料有料） **0570-00-0233**
（PHS・一部の IP 電話などでは、ご利用になれない場合があります）

月～土　10:00～18:00(当社指定休業日等を除く)
日曜日・祝日　10:00～16:00(12:30～13:30は休止)

■ホームページ上によくあるお問い合わせ情報を掲載しておりますのでご利用ください。
また、メンテナンス情報やトラブル情報につきましても、お問い合わせの前に、当社ホームページをご確認ください。

●「東芝DVDインフォメーションセンター」「RDシリーズサポートダイヤル」は株式会社東芝デジタルメディアネットワーク社が運営しております。

●お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

●東芝グループ会社または協力会社が対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがありますので、あらかじめご了承ください。

愛情点検

★長年ご使用の HD DVD プレーヤーの点検を！

このような症状はありませんか	● 再生しても音や映像が出ない ● 煙が出たり、異常なにおいや音がする ● 水や異物がはいった	● ディスクが傷ついたり、取り出しができない ● 電源コード、プラグが異常に熱くなる ● その他の異常や故障がある	お願い	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

株式会社 東芝

デジタルメディアネットワーク社

〒105－8001　東京都港区芝浦1－1－1

＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

古紙配合率70％再生紙を使用しています

Ⓗ GX1D00000501